



# SOAP API Developer's Guide

ver.1.0

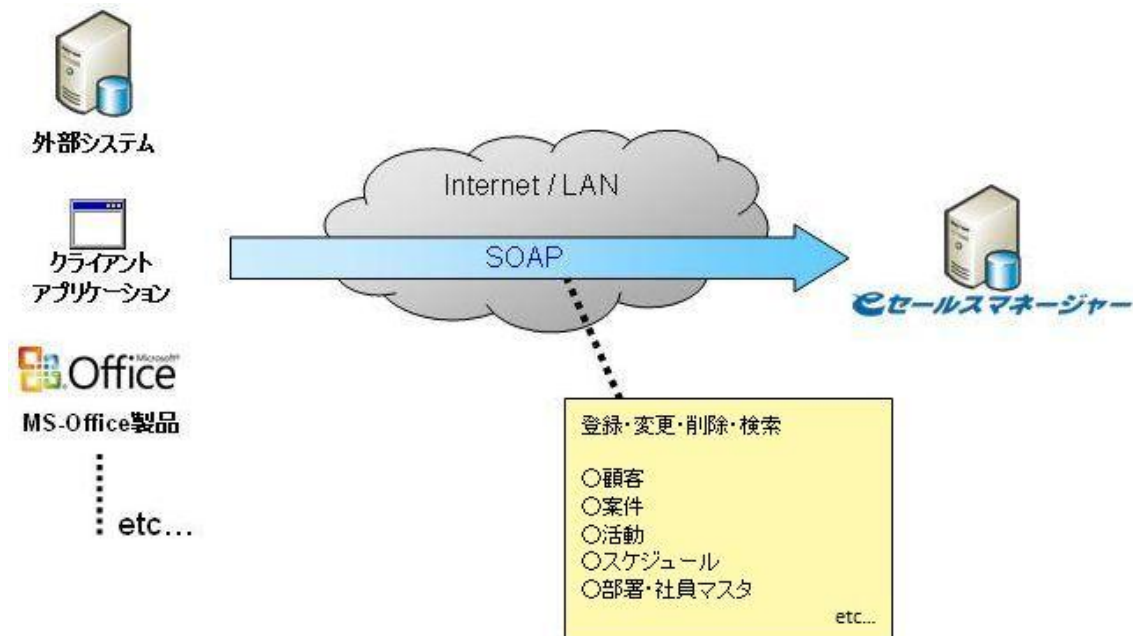
## 目次

1. はじめに .....	4
2. チュートリアル.....	6
2.1.はじめに .....	6
2.1.1. 本チュートリアルについて .....	6
2.1.2. WSDL を取得し、サービスプロキシを作成する .....	6
2.1.3. エンティティの項目一覧を取得する .....	7
2.2.検索 .....	7
2.2.1. 条件を指定して顧客を検索する.....	7
2.2.2. 紐付先拡張シートの条件を指定して顧客検索する .....	9
2.3.登録・更新.....	10
2.3.1. 顧客を登録する .....	10
2.3.2. 顧客を更新する .....	11
2.3.3. 顧客と拡張シートを紐付ける .....	12
2.4.削除 .....	13
2.4.1. 顧客を削除する .....	13
3. リファレンス.....	14
3.1.概要 .....	14
3.2.ライセンスと利用規約 .....	15
3.3.オブジェクトモデル .....	18
3.4.トランザクション .....	24
3.5.認証 .....	25
3.6.主要オペレーション .....	25
3.6.1. insert .....	25
3.6.2. update.....	27
3.6.3. delete .....	28
3.6.4. search .....	29
3.7.ユーティリティー オペレーション.....	35
3.7.1. getColumn.....	35
3.7.2. getSelectItems.....	37
3.7.3. getCheckItems.....	38

3.7.4. getBuildNumber .....	39
3.7.5. getSupportedObjNames .....	40
3.8. エンティティ リファレンス .....	42
3.8.1. 部署・社員 .....	42
3.8.2. 顧客 .....	45
3.8.3. 名刺 .....	47
3.8.4. 案件 .....	50
3.8.5. 活動 .....	56
3.8.6. スケジュール .....	62
3.8.7. ToDo .....	66
3.8.8. 商品 .....	68
3.8.9. 拡張シート .....	69
4. FAQ .....	71

## 1. はじめに

eセールスマネージャーRemix SOAP API を利用すると、顧客や案件といった各種エンティティに対し、SOAP 通信を利用して検索・登録・更新・削除を行うことが可能です。



## お知らせ

eセールスマネージャーRemix では、以下のエンティティが正式に公開されております。

- 社員
  - 部署
  - 役職
- 顧客
- 名刺
- 案件
  - 業務タイプ
  - 自社担当者
  - 客先担当者
  - 案件商品情報項目
  - 代理店
  - 案件タイプ

- 活動
  - 活動内容／活動時間
  - 商品情報項目
  - 当日面談者
  - 活動内容マスタ
  - 進捗状況マスタ
- スケジュール
  - スケジュール種別
  - 当日面談者
- TODO
- 商品
- 拡張シート

下記のエンティティについては、現段階では呼び出しは可能となっておりますが動作は保証しておりません。

- 名刺受取人

### 技術支援

本リファレンス以上の技術支援をご希望の場合は弊社営業担当までご連絡ください。(有償)

### 補足事項

開発言語に Java(JDK1.6.0\_17)、SOAP Web Service 用フレームワークに Apache Axis2 Version 1.4 を用いた クライアントプログラムにて動作検証をおこなっております。

## 2. チュートリアル

### 2.1. はじめに

#### 2.1.1. 本チュートリアルについて

eセールスマネージャーRemix SOAP API を利用したクライアントアプリケーションの開発について、ここでは開発言語に Java を、SOAP Web Service 用フレームワークに Apache Axis2 Version 1.4 を用いた顧客に対する操作の例を用いて紹介します。

#### 2.1.2. WSDL を取得し、サービスプロキシを作成する

まずは、eセールスマネージャーRemix SOAP API の WSDL を取得し、Apache Axis2 付属のユーティリティ WSDL2Java を使用してサービスプロキシを作成します。

WSDL は、eセールスマネージャーRemix が稼動している Web サーバの下記 URL から取得することができます。

```
http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService?wsdl
```

例)

eセールスマネージャーRemix の URL が

```
http://www.test-corporation.com/esm/esales-pc
```

の場合には、

```
http://www.test-corporation.com/esm/soap_webservices/BPMService?wsdl
```

から取得できます。

サービスプロキシを作成するための WSDL2Java 起動コマンド例は、下記のようになります。

```
% wsdl2java -uri <WSDL の URL> -d adb -s -u -noBuildXML
```

※WSDL 2.0 の場合は、オプションに「-wv 2.0」を追加して下さい。

### 2.1.3. エンティティの項目一覧を取得する

下記の URL から、顧客の項目一覧を取得することができます。

```
http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService/getColumns?userId=<社員番号>&password=<パスワード>&objName=customer
```

※ 社員番号・パスワードには、e セールスマネージャーRemix のユーザの項目「社員番号」の値と、そのユーザがログインする際に入力するパスワードを指定してください。

## 2.2. 検索

### 2.2.1. 条件を指定して顧客を検索する

ここでは【顧客名が“株式会社テスト顧客”と『完全一致』するもの】を検索条件に顧客を検索し、検索結果を標準出力に出力する場合の例を示します。

サービスプロキシのインスタンスを生成します。

```
BPMService service = new BPMServiceStub();
```

検索を実行するためには「検索式」と「検索結果として取得する項目一覧」を指定する必要があります。

まずは、検索式を作成してみましょう。

検索式は、1つ以上の「検索条件」から成り立ちます。検索条件の指定は、SearchConditionItem というクラスのインスタンスを作成して行います。

```
SearchConditionItem[] condCusItems = new SearchConditionItem[1];  
condCusItems[0] = new SearchConditionItem();
```

検索対象に顧客の項目「顧客名」の項目コードを指定します。

※項目コードは、エンティティの項目一覧から取得できる「columnCode」という属性の値です。

```
condCusItems[0].setColumnCode(301);
```

検索条件の評価方法を指定します。

ここでは『完全一致』であることを示す"="を指定します。

```
condCusItems[0].setOperator("=");
```

検索条件値を指定します。

```
condCusItems[0].setText("株式会社テスト顧客");
```

検索条件を元に検索式を作成します。

```
SearchCondition condCust = new SearchCondition();  
condCust.setTargetObjectName("customer");  
condCust.setItems(condCusItems);
```

(※補足)

エンティティの種類によっては、『関連エンティティの検索式』を検索条件に含めることができます。

例えば、【"テスト案件"という名前の案件を持つ】という検索条件を追加する場合は以下のように記述します。

```
SearchConditionItem[] condBizItems = new SearchConditionItem[1];  
condBizItems[0] = new SearchConditionItem();  
condBizItems[0].setColumnCode(202);  
condBizItems[0].setOperator("=");  
condBizItems[0].setText("テスト案件");  
  
SearchCondition[] condBiz = new SearchCondition[1];  
condBiz[0] = new SearchCondition();  
condBiz[0].setTargetObjectName("business");  
condBiz[0].setItems(condBizItems);  
  
condCust.setRelatedObjectConditions(condBiz);
```

次に、検索結果として取得する項目一覧を作成してみましょう。

作成方法は、取得したい項目の項目コードの配列を作成するだけです。

```
int[] columnCodes = new int[] { 301, 302, 303, 304, 305, 307, 309, 10001, ...};
```

「検索式」と「検索結果として取得する項目一覧」が作成できたら、Search というクラスのインスタンスを生成して『検索を実行するユーザのユーザ ID、パスワード、検索式、検索結果として取得する項目一覧』をセットし、サービスの search オペレーションを実行します。

```
Search searchParams = new Search();  
searchParams.setUserId("id");  
searchParams.setPassword("password");  
searchParams.setSearchCondition(condCust);  
searchParams.setColumnCodes(columnCodes);  
  
Result searchResult = service.search(searchParams).get_return();
```



検索結果は BPMObject というクラスのインスタンス配列として返されます。

```

BPMObject[] objects = searchResult.getObjects();

for(int i = 0 ; i < objects.length ; i ++ ) {
    ItemData[] itemDataList = objects[i].getItemData();

    for(int j = 0 ; j < itemDataList.length ; j ++ ) {
        System.out.println(itemDataList[j].getColumnCode() + "," + itemDataList[j].getText());
    }
}
    
```

(結果例)

```

301,株式会社テスト顧客
302,かぶしきがいしゃてすとかすたまーしーと
. . . . .
309,詳細内容
10001,顧客文字型項目の入力内容
. . . . .
    
```

### 2.2.2. 紐付先拡張シートの条件を指定して顧客検索する

紐付先拡張シートの条件を指定した検索方式は、関連エンティティの targetObjectName 属性値に【エンティティ種別名@紐付項目カラム名】を設定します。「紐付項目カラム名」については、拡張シートのリファレンスをご参照下さい。

例えば、【関連づいている拡張シート A の文字型拡張項目に“テスト拡張シート A”という値を持つ】という検索条件を追加する場合は以下のように記述します。

```

SearchCondition condCust = new SearchCondition();
condCust.setTargetObjectName("customer");
. . . . .

SearchConditionItem[] condCustomizeItems = new SearchConditionItem[1];
condCustomizeItems[0] = new SearchConditionItem();
condCustomizeItems[0].setColumnCode(10000);
condCustomizeItems[0].setOperator("=");
condCustomizeItems[0].setText("テスト拡張シート A");

SearchCondition[] condCustomize = new SearchCondition[1];
condCustomize[0] = new SearchCondition();
condCustomize[0].setTargetObjectName("customize_20000@RELATION_10001");
condCustomize[0].setItems(condCustomizeItems);

condCust.setRelatedObjectConditions(condCustomize);
    
```

## 2.3. 登録・更新

### 2.3.1. 顧客を登録する

サービスプロキシのインスタンスを生成します。

```
BPMService service = new BPMServiceStub();
```

BPMObject のインスタンスを生成し、登録対象のエンティティが顧客であることを指定します。

```
BPMObject customer = new BPMObject();  
customer.setObjName("customer");
```

入力する項目毎に ItemData インスタンスを生成し、値をセットします。

```
ItemData[] item = new ItemData[13];  
for (int i = 0 ; i < item.length ; i ++ ) {  
    item[i] = new ItemData();  
}  
  
item[0].setColumnCode(301);  
item[0].setText("株式会社テスト顧客");  
  
item[1].setColumnCode(302);  
item[1].setText("かぶしきがいしゃてすとかすたまーしーと");  
  
. . . .  
  
customer.setItemData(item);
```

入力値をセットし終わったら、Insert というクラスのインスタンスを生成して『登録を実行するユーザのユーザ ID、パスワード、BPMObject』をセットし、サービスにの insert オペレーションを実行します。

```
Insert insertParam = new Insert();  
insertParam.setUserId("id");  
insertParam.setPassword("password");  
insertParam.setObj(customer);  
  
try {  
    service.insert(insertParam).get_return();  
} catch (RemoteException re) {  
    re.printStackTrace();  
}
```

これで登録処理は完了です。

### 2.3.2. 顧客を更新する

更新時の処理は登録時のそれと殆ど差異はありません。

登録時と異なり、入力値に更新対象エンティティのプライマリキーをセットし、サービスの update オペレーションを実行します。

```
item[0].setColumnCode(318);
item[0].setNum(10000);

item[1].setColumnCode(309);
item[1].setText("2009年8月25日 更新");
. . . .

Update updateParam = new Update();
updateParam.setUserId("id");
updateParam.setPassword("password");
updateParam.setObj(customer);

try {
    service.update(updateParam);
} catch (RemoteException re) {
    re.printStackTrace();
}
```

これで更新処理は完了です。

### 2.3.3. 顧客と拡張シートを紐付ける

紐付先拡張シートの条件を指定した検索方式は、関連エンティティの relatedObjects 属性値に【エンティティ種別名@紐付項目カラム名】を設定し、紐付対象エンティティのプライマリキーをセットします。

例えば、【紐付型項目で関連づいている拡張シートAのレコード10000】と紐づけて顧客更新する場合は以下のように記述します。

```
BPMObject customer = new BPMObject();
customer.setObjName("customer");
. . . .
customer.setItemData(item);

BPMObject customize = new BPMObject();
customize.setObjName("customize_20000@RELATION_10002");

ItemData[] custItem = new ItemData[1];
custItem[0] = new ItemData();
custItem[0].setColumnCode(10001);
custItem[0].setText("10000");

customize.setItemData(custItem);

customer.setRelatedObjects(new BPMObject[]{ customize });

Update updateParam = new Update();
updateParam.setUserId("id");
updateParam.setPassword("password");
updateParam.setObj(customer);

try {
    service.update(updateParam);
} catch (RemoteException re) {
    re.printStackTrace();
}
```

これで紐付処理は完了です。

## 2.4. 削除

### 2.4.1. 顧客を削除する

削除時の処理も、更新時同様に登録時のそれと殆ど差異はありません。

登録時と異なり、入力値に削除対象エンティティのプライマリキーをセットし、サービスの delete オペレーションを実行します。

```
item[0].setColumnCode(318);
item[0].setNum(10000);

Delete deleteParam = new Delete();
deleteParam.setUserId("id");
deleteParam.setPassword("password");
deleteParam.setObj(customer);

try {
    service.delete(deleteParam);
} catch (RemoteException re) {
    re.printStackTrace();
}
```

これで削除処理は完了です。

### 3. リファレンス

#### 3.1. 概要

##### 本 SOAP API の概要

本 SOAP API は、eセールスマネージャーRemix の各種エンティティを登録／変更／削除／検索するための

- SOAP 1.1 (HTTP Binding)
- SOAP 1.2 (HTTP Binding)

に準拠した RPC インターフェースを提供いたします。

##### WSDL、エンドポイント URL

WSDL は、下記 URL から取得してください。

WSDL 1.1	http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService?wsdl
WSDL 2.0	http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService?wsdl2

例)

eセールスマネージャーRemix の URL が

`http://www.test-corporation.com/esm/esales-pc`

の場合には、

`http://www.test-corporation.com/esm/soap_webservices/BPMService?wsdl`

`http://www.test-corporation.com/esm/soap_webservices/BPMService?wsdl2`

から WSDL を取得できます。

WSDL 中には、下記 2 つのエンドポイント URL が記載されております。

SOAP 1.1	http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService.BPMServiceHttpSoap11Endpoint/
SOAP 1.2	http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService.BPMServiceHttpSoap12Endpoint/

なお、WSDL 1.1 のサンプルは、

[こちら](https://sb-remixweb.softbrain.co.jp/esm_multi/help/webapi/api/sub_page/BPMService.wsdl)([https://sb-remixweb.softbrain.co.jp/esm\\_multi/help/webapi/api/sub\\_page/BPMService.wsdl](https://sb-remixweb.softbrain.co.jp/esm_multi/help/webapi/api/sub_page/BPMService.wsdl))

から取得できます。

#### 【注意】

IP アドレスの変換が行われるネットワーク環境の場合（リバースプロキシをご利用されている場合など）には、WSDL 中に記載されているエンドポイント URL にアクセスできない場合がございます。

## 3.2. ライセンスと利用規約

### ライセンス

eセールスマネージャーRemix SOAP API のライセンス体系は、下記のようになっております。

運用ライセンス	弊社 ASP 環境上で、連携アプリケーションの開発・試験および運用の際に利用いただくためのライセンスです。
無制限ライセンス	http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService.BPMServiceHttpSoap12Endpoint/

SOAP API にアクセスする際には、スケジュールシェアライセンス、ナレッジシェアライセンス、スタンダードライセンスのどれかを保有しているユーザによる社員番号/パスワード認証が必要になります。

### 利用制限

登録しているライセンスに応じて、下記のような利用制限が設けられます。

	ライセンスなし	運用ライセンス	無制限ライセンス
1 時間あたりのアクセス数上限	10,000	10,000 + (登録ライセンス数 × 10,000)	2,147,483,647
search オペレーションのエンティティ数上限	200	200	9,223,372,036,854,775,807
同時アクセス数上限	5	5	9,223,372,036,854,775,807

## 1 時間あたりのアクセス数上限

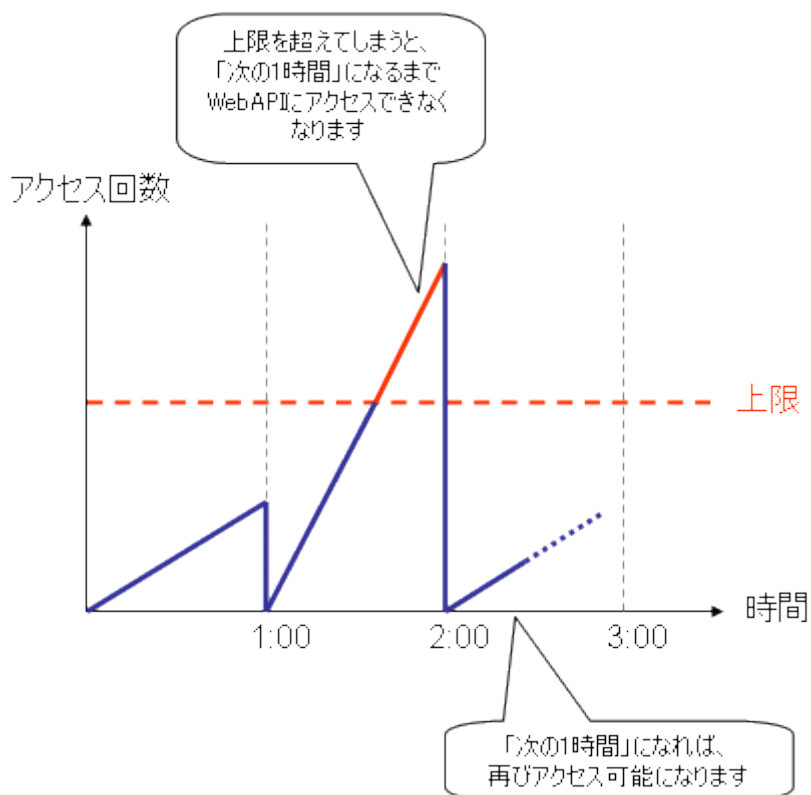
eセールスマネージャーRemix SOAP API では、主要オペレーションへのアクセス回数を 1 時間ごとにカウントしています。

「1 時間」は、サーバの時計で下記の時間範囲になります。

- 0:00 ~ 1:00
- 1:00 ~ 2:00
- 2:00 ~ 3:00
- . . .
- 23:00 ~ 0:00

実行回数が上限に到達してしまった場合には、次の 1 時間になるまで主要オペレーションを使用することができなくなります（アクセスすると、SOAP Fault が発生します）。

例)



※ ユーティリティ オペレーションは、実行回数に関係なく、常にご利用いただくことが可能です。



### search オペレーションのエンティティ数上限

1 回の search オペレーション実行で取得できるエンティティの数の上限値です。

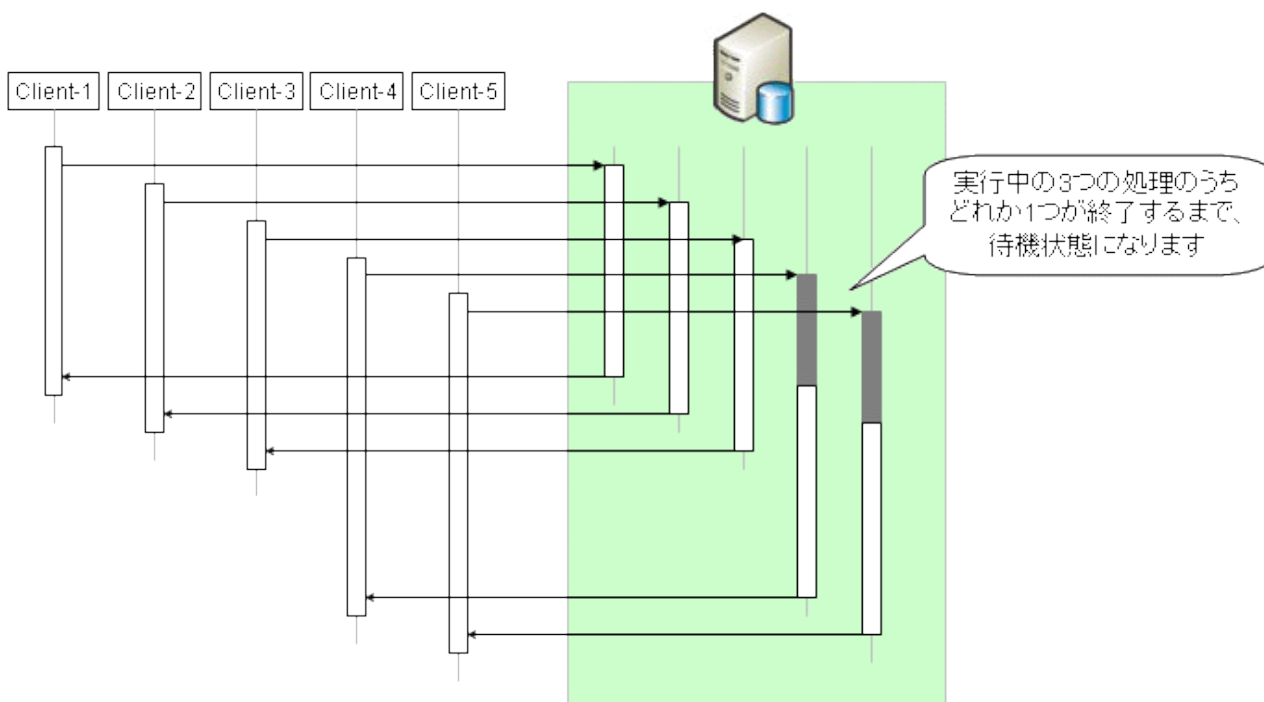
詳細は、[3.6.4 search オペレーションのリファレンス](#)を参照ください。

### 同時アクセス数上限

主要オペレーションの同時実行数の上限値です。

上限値を超えて同時アクセスが行われた際には、後続のアクセスは実行中の処理が終了するまで待機状態になります。

例) 同時アクセス数上限 3 の環境に、5 件の同時アクセスが発生した場合



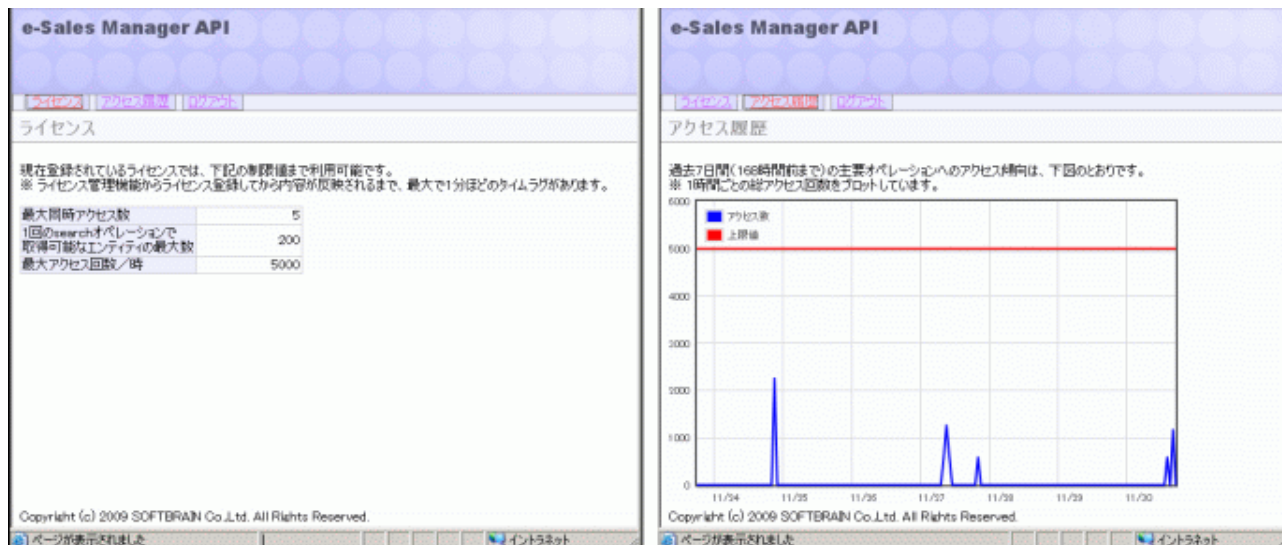
※ ユーティリティ オペレーションは、常に即時実行されます。

### 管理コンソール

ブラウザで下記 URL にアクセスすることで、SOAP API 管理コンソールをご利用いただくことができます。

`http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/AdminConsole`

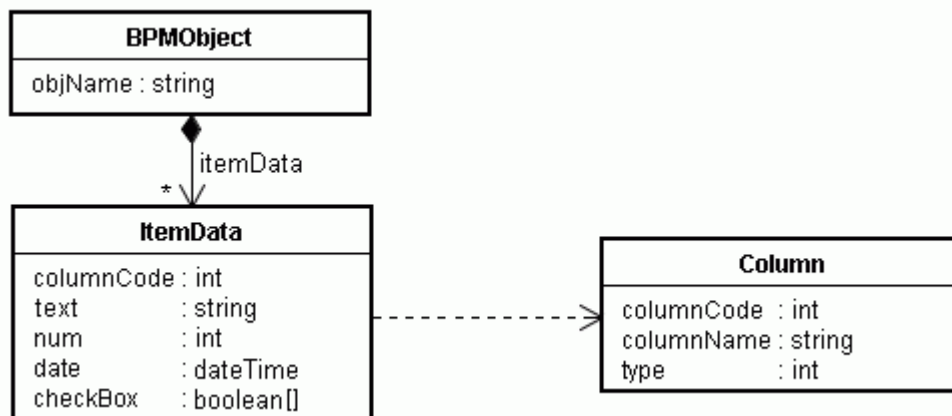
利用制限やアクセス傾向の確認を行うことが可能です。



### 3.3. オブジェクトモデル

#### オブジェクトモデル

eセールスマネージャーRemix SOAP API では、各エンティティを表現する際に下記の3つのオブジェクトを使用します。



- BPMObject

エンティティを表します。

objName	エンティティの種別名です。 例) customer - 顧客
---------	-----------------------------------

- ItemData

エンティティの属性値を表します。

columnCode	Column オブジェクトの columnCode を指すことで、どの項目の値なのかを表します。
Text	テキスト型/テキストエリア型の項目の場合には、この属性に値を指定します。
Num	整数型/セレクト型の項目の場合には、この属性に値を指定します。
Date	日付/日時型の項目の場合には、この属性に値を指定します。
checkBox	チェックボックス型の項目の場合には、この属性に値を指定します。

- Column

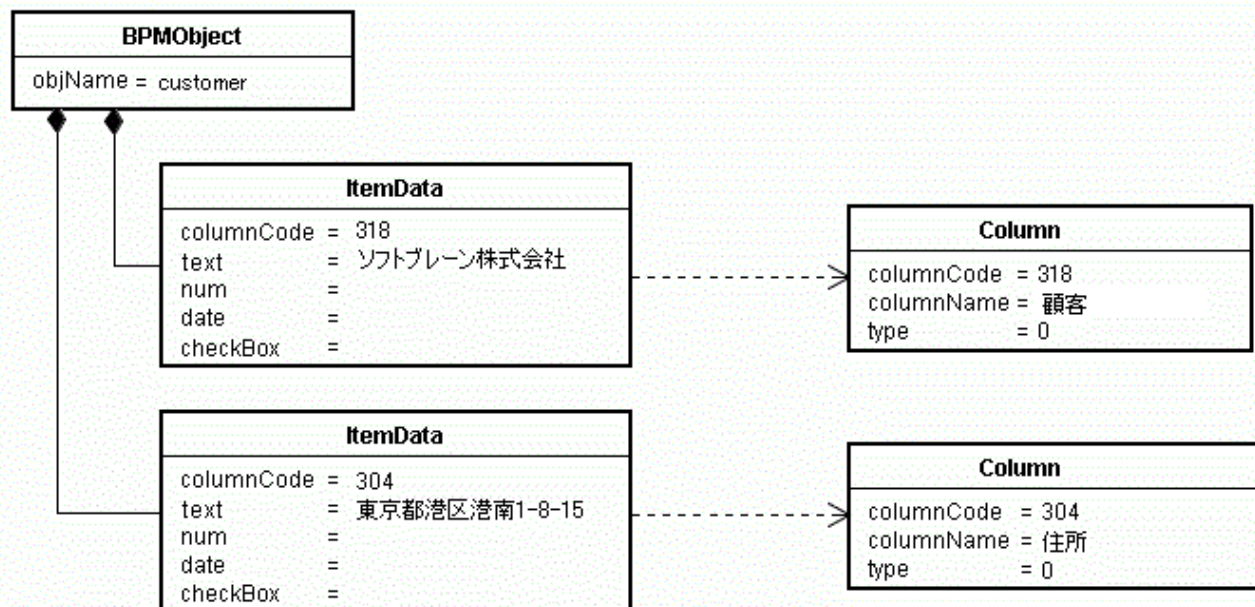
項目のメタデータを表します。

各エンティティに用意されている項目一覧は、エンティティ リファレンスを参照ください。

(DB カスタマイズ機能で追加した項目のメタデータは、getColumns オペレーションを利用して取得してください)

columnCode	この項目を指す際に使用する一意識別子です。 同一エンティティ種別内で一意であることが保障されています。		
columnName	項目名です。(形式言語ではなく、自然言語での項目名称です)		
type	項目のデータ型です。		
	Column の type 属性	データ型	使用する ItemData の属性
	0	テキスト型	text
	1	セレクト型	num
	2	日付型	date
	3	整数型	num
	4	テキストエリア型	text
	6	チェックボックス型	checkBox
11	日時型	date	

例) 顧客名が「ソフトブレン株式会社」、住所が「東京都港区港南 1-8-15」である顧客を上記モデルで表現した際には、下図のようになります。



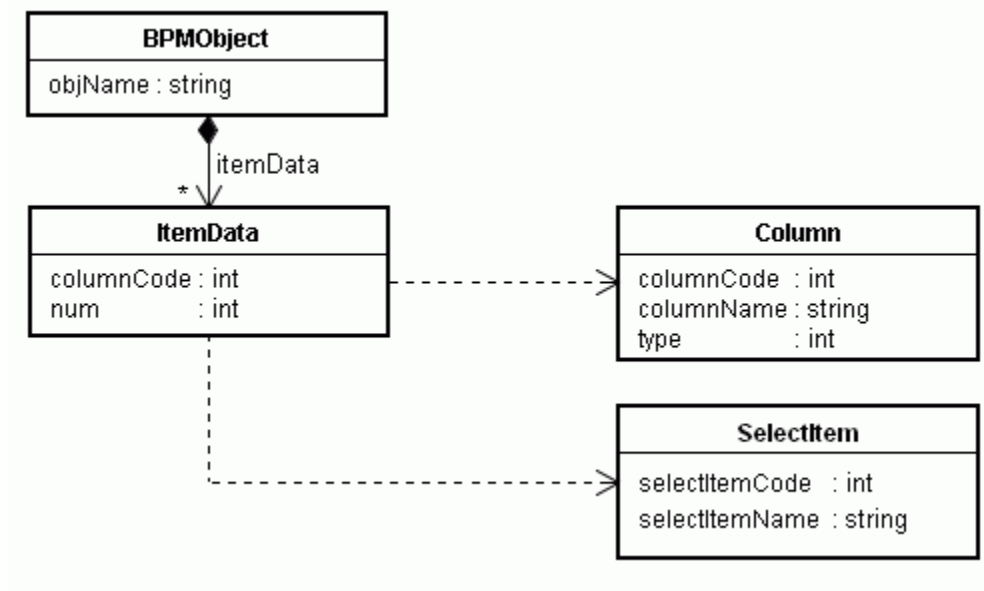
### セレクト型項目の値を指定する

#### 【注意】

DB カスタマイズ機能によって追加されたセレクト型項目にのみ適用されます (columnCode >= 10000 の項目は、DB カスタマイズ機能によって追加された項目です)。

e セールスマネージャーRemix があらかじめ用意している項目 (デフォルト項目) で使用する選択肢は、項目ごとに別途定義されています。詳細は、各エンティティのリファレンスを参照ください。

セレクト型項目のデータ表現は、ItemData オブジェクトの num 属性で、SelectItem オブジェクトの selectItemCode 属性値を指し示すことで行います。

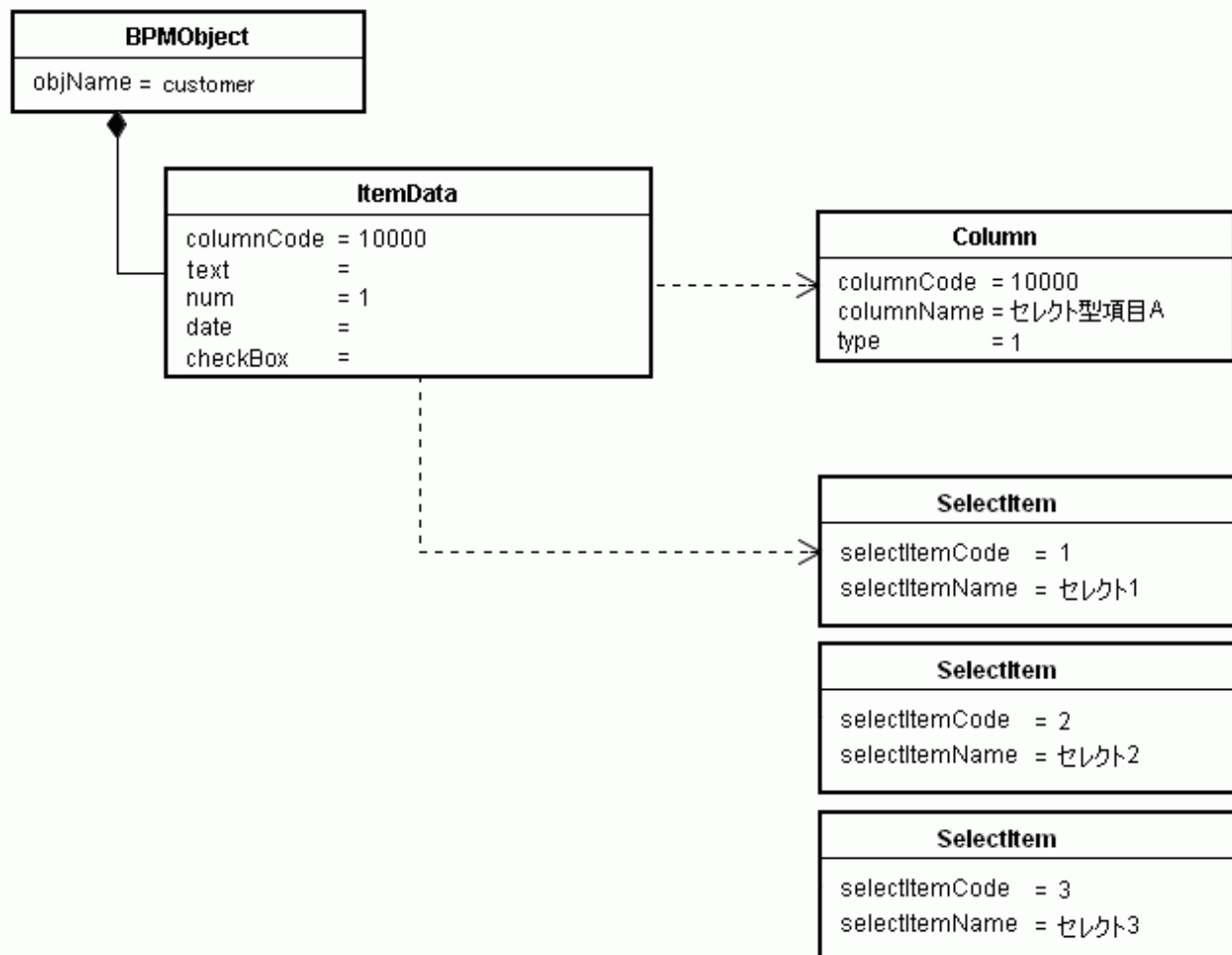


- SelectItem

セレクト型項目の選択肢を表します。

selectItemCode	選択肢の一意識別子です。 同一セレクト型項目内で一意であることが保障されています。
selectItemName	選択肢名です。（形式言語ではなく、自然言語での名称です）

例) 選択肢「セレクト 1」「セレクト 2」「セレクト 3」を持つセレクト型項目「セレクト型項目 A」があるとして、その項目の値が「セレクト 1」である顧客を上記モデルで表現した際には、下図のようになります。



### チェックボックス型項目の値を指定する

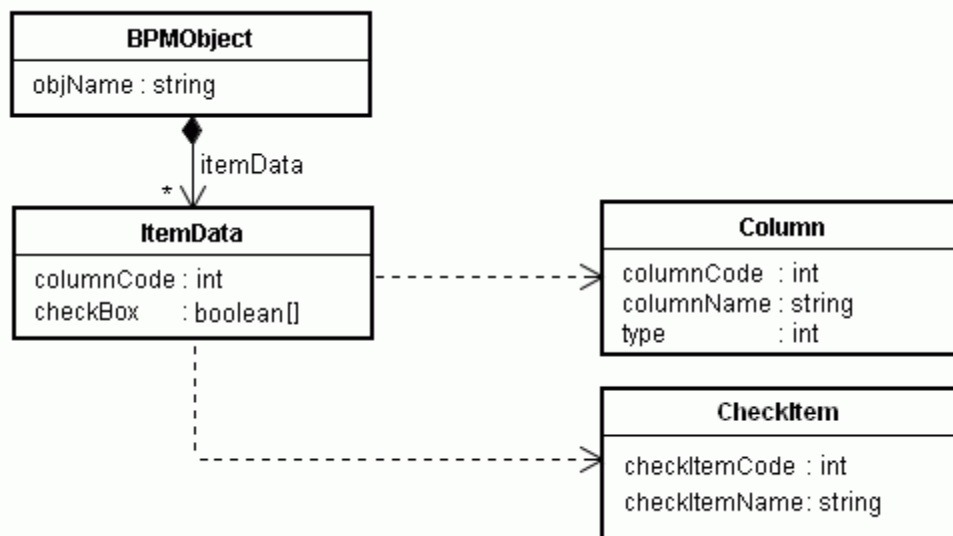
#### 【注意】

DB カスタマイズ機能によって追加されたチェックボックス型項目にのみ適用されます (columnCode >= 10000 の項目は、DB カスタマイズ機能によって追加された項目です)。

e セールスマネージャーRemix があらかじめ用意している項目 (デフォルト項目) で使用する選択肢は、項目ごとに別途定義されています。詳細は、各エンティティのリファレンスを参照ください。

チェックボックス型項目のデータ表現は、ItemData オブジェクトの checkBox 属性に boolean 型の配列を指定することで行います。チェックボックス型項目の選択肢は CheckItem オブジェクトで表現され、

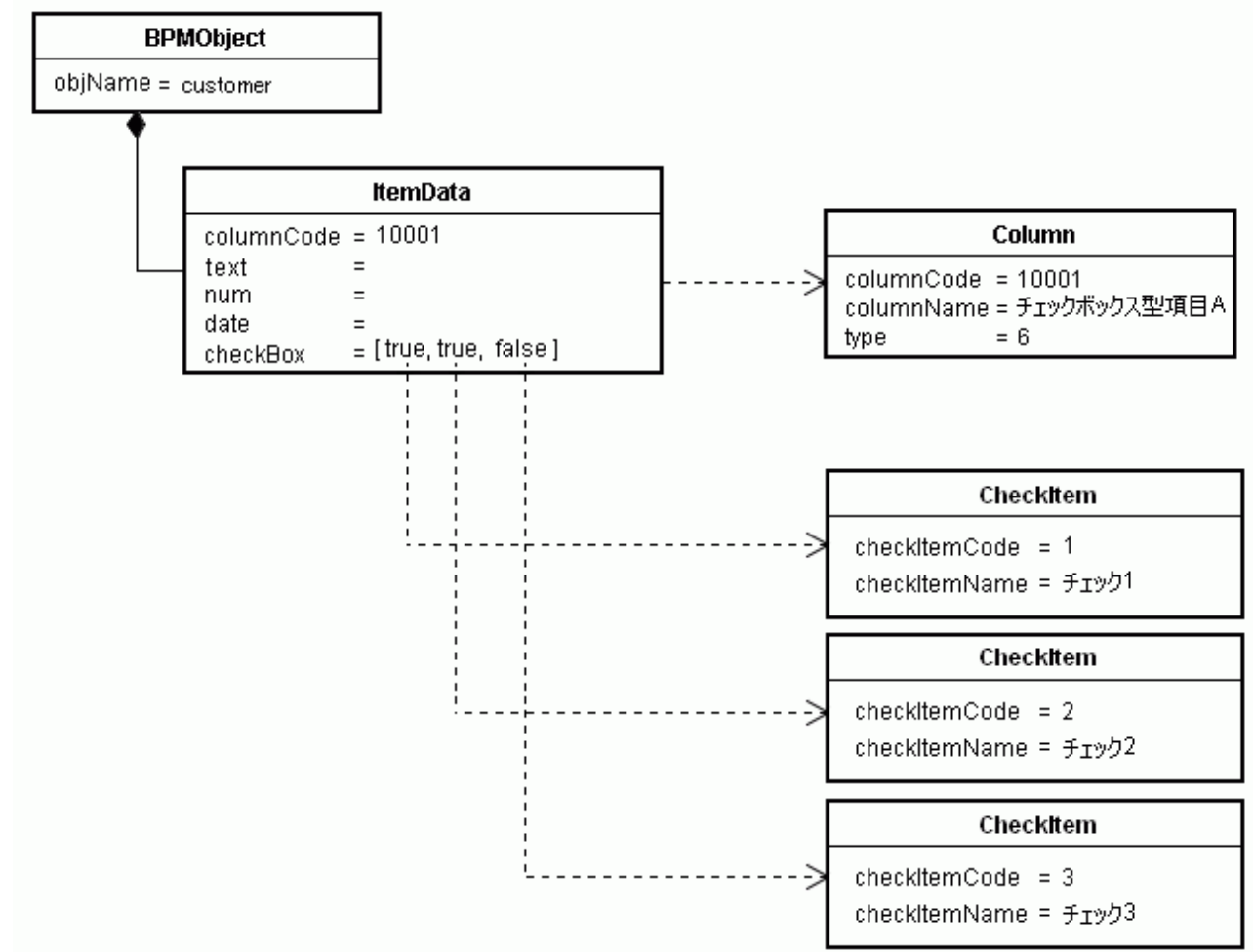
- CheckItem オブジェクトの checkItemCode 属性値が、boolean 型の配列のインデックス（1 から始まります）になります。
- true を指定すると「チェックが入れている」、false を指定すると「チェックが外されている」ことを表します。



- CheckItem

セレクト型項目の選択肢を表します。

checkItemCode	選択肢の一意識別子です。 また、ItemData に値を指定する際の、boolean 型配列のインデックスを表します。 同一チェックボックス型項目内で一意であることが保障されています。
checkItemName	選択肢名です。（形式言語ではなく、自然言語での名称です）



### 3.4. トランザクション

オペレーション 1 コールが、ローカルトランザクションの単位になります。

なお、WS-Transaction 等を利用したグローバルトランザクションには対応していません。



### 3.5. 認証

各オペレーションを実行する際には、ユーザ認証が必要となります。

各オペレーションに下記入力パラメータが設けられておりますので、認証情報を入力してください。

userId	ユーザの識別子です。 社員の「社員番号」を指定してください。
password	パスワードです。 eセールスマネージャーRemix にログインする際に入力するパスワードを指定してください。

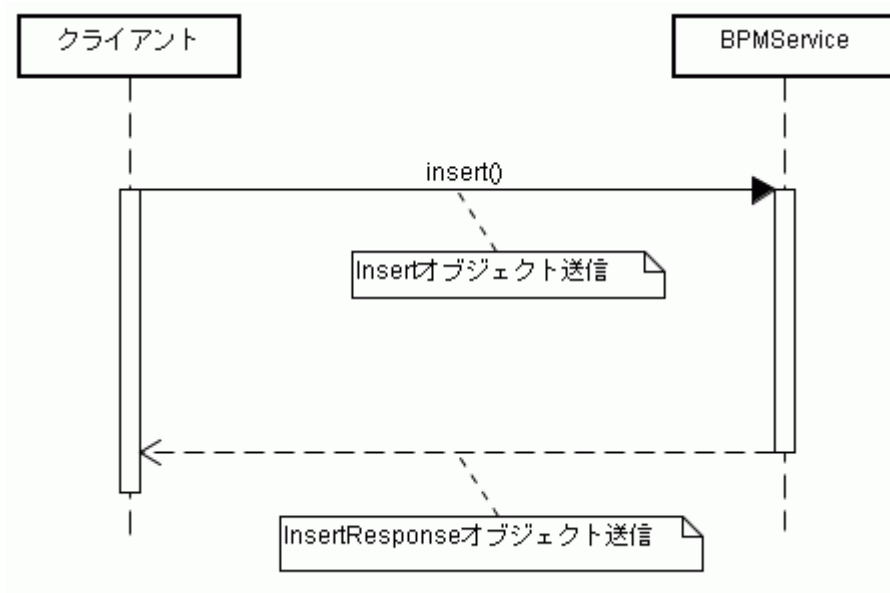
このユーザは、スケジュールシェアライセンス、ナレッジシェアライセンス、スタンダードライセンスのどれかを保有している必要があります。

### 3.6. 主要オペレーション

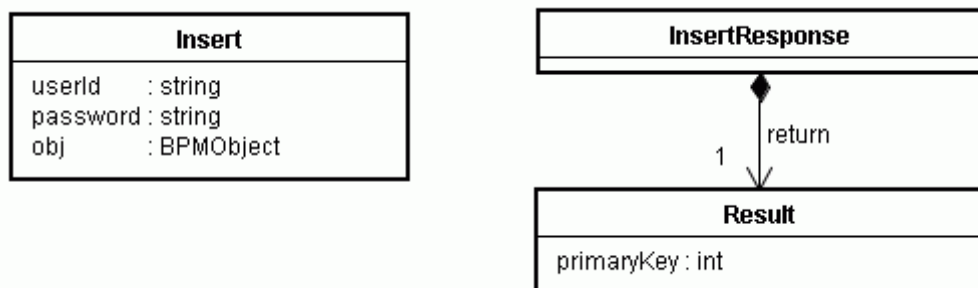
#### 3.6.1. insert

各エンティティを eセールスマネージャーRemix に新規登録する際に使用するオペレーションです。

処理シーケンスは下図のようになります。



また、入力/出力パラメータオブジェクトのオブジェクトモデルは下記ようになります。



- Insert

insert オペレーションの入力パラメータです。

userId	認証情報です。
password	認証情報です。
obj	新規登録するエンティティを指定してください。 指定必須な属性値や、指定可能な属性値は、各エンティティのリファレンスを参照ください。

- InsertResponse

insert オペレーションの出力パラメータです。

- Result

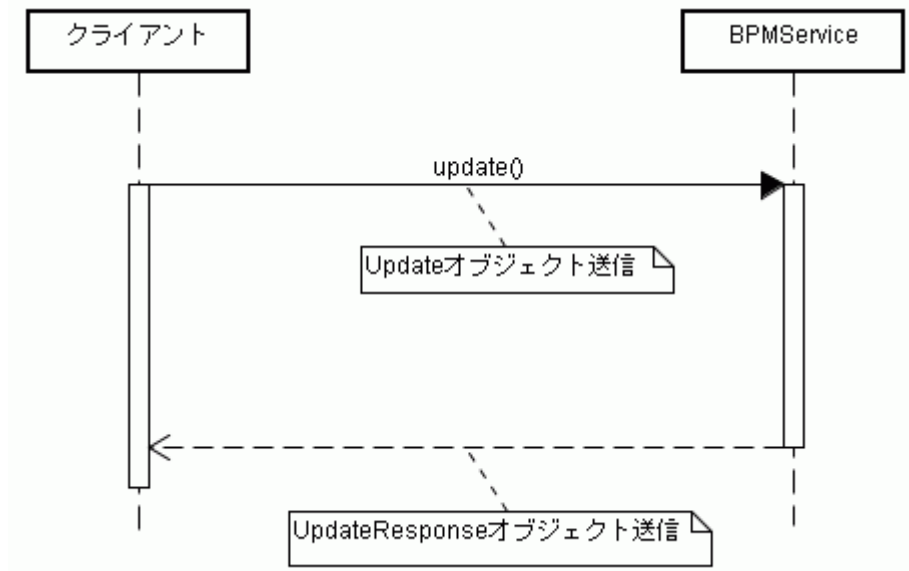
オペレーション実行結果を表すオブジェクトです。

primaryKey	新規登録されたエンティティに付与された一意識別子です。 エンティティのどの項目に相当するかは、各エンティティのリファレンスを参照ください。
------------	--

### 3.6.2. update

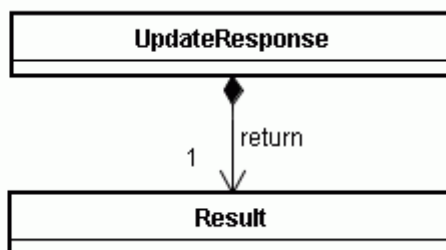
eセールスマネージャーRemixに登録済みのエンティティを更新する際に使用するオペレーションです。

処理シーケンスは下図のようになります。



また、入力/出力パラメータオブジェクトのオブジェクトモデルは下記のようにになります。

Update	
userId	: string
password	: string
obj	: BPMObject



- Update

update オペレーションの入力パラメータです。

userId	認証情報です。
password	認証情報です。
Obj	更新するエンティティを指定してください。 指定必須な属性値や、指定可能な属性値は、各エンティティのリファレンスを参照ください。

- UpdateResponse

update オペレーションの出力パラメータです。

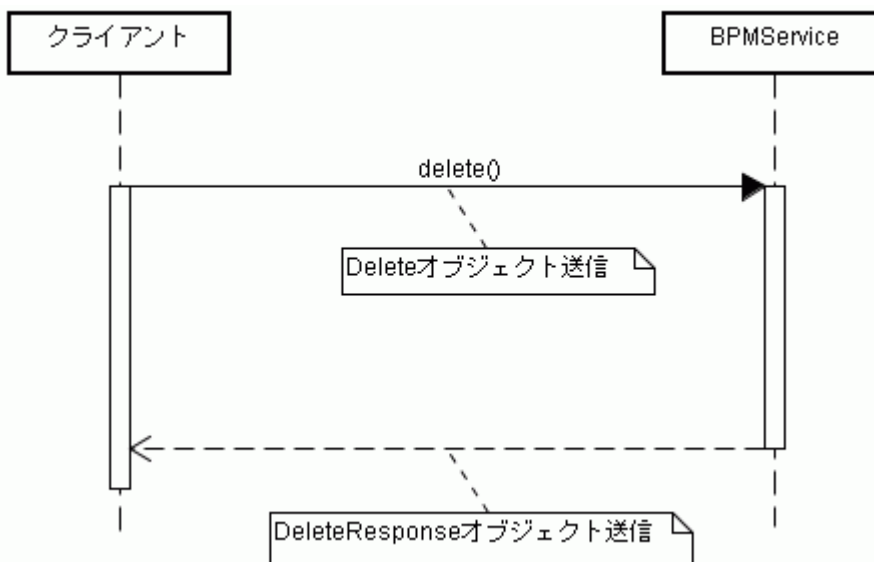
- Result

オペレーション実行結果を表すオブジェクトです。

update オペレーションの際には、特に情報は返しません。(SOAP Fault が発生していなければ、更新は成功しています)

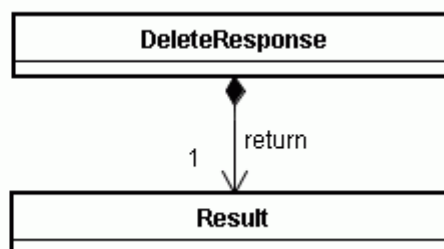
### 3.6.3. delete

eセールスマネージャーRemixに登録済みのエンティティを削除する際に使用するオペレーションです。処理シーケンスは下図のようになります。



また、入力/出力パラメータオブジェクトのオブジェクトモデルは下記のようになります。

Delete	
userid	: string
password	: string
obj	: BPMObject



- Delete

delete オペレーションの入力パラメータです。

userId	認証情報です。
Password	認証情報です。
obj	削除するエンティティを指定してください。 指定必須な属性値や、指定可能な属性値は、各エンティティのリファレンスを参照ください。

- DeleteResponse

delete オペレーションの出力パラメータです。

- Result

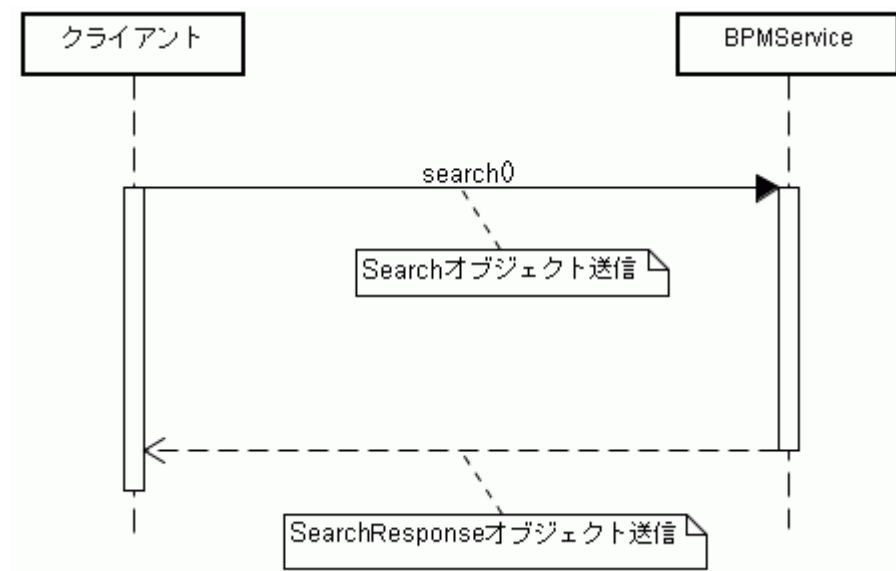
オペレーション実行結果を表すオブジェクトです。

delete オペレーションの際には、特に情報は返しません。(SOAP Fault が発生していなければ、削除は成功しています)

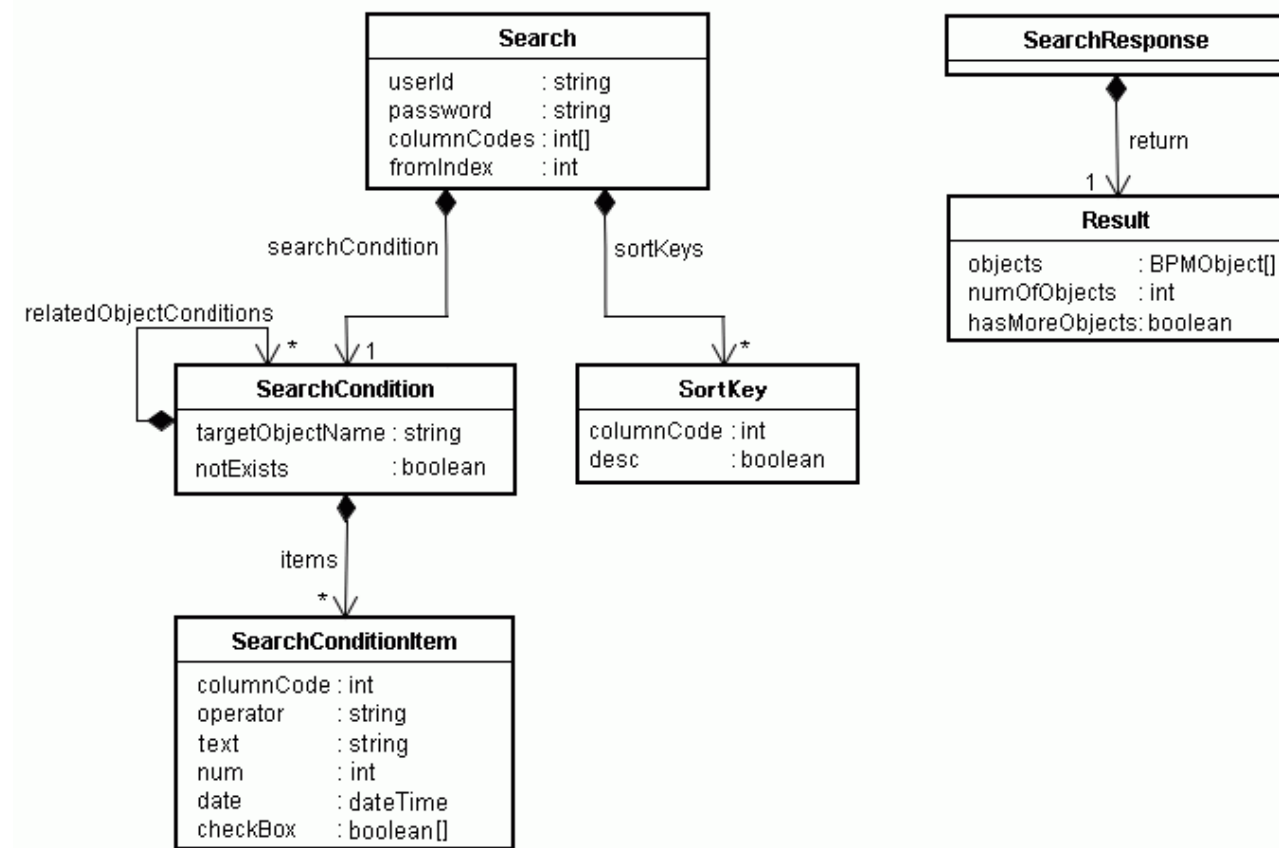
### 3.6.4. search

エンティティを検索するオペレーションです。

処理シーケンスは下図のようになります。



また、入力/出力パラメータオブジェクトのオブジェクトモデルは下記のようになります。



- Search

search オペレーションの入力パラメータです。

userId	認証情報です。
password	認証情報です。
columnCodes	検索結果として取得したい項目の項目コードです。 指定可能な項目コードについては、各エンティティのリファレンスを参照ください。
fromIndex	検索結果セットの何番目から取得するかを指定します。 (詳細は「 <a href="#">検索結果の件数が多量になる場合</a> 」を参照ください)  ※ 未指定または 0 以下を指定すると、1 を指定した場合と同じ動作になります。

- SearchCondition

検索条件を表すオブジェクトです。

targetObjectName	検索対象となるエンティティの種別名です。
notExists	(関連エンティティへの検索条件として、relatedObjectConditions にセットするオブジェクトでのみ使用) true : 条件に合致する関連エンティティが存在する場合に、「条件に合致」と見なす false : 条件に合致する関連エンティティが存在しない場合に、「条件に合致」と見なす

- SearchConditionItem

検索条件式を表すオブジェクトです。

2 個以上 SearchCondition オブジェクトにセットされた際には、全ての条件を満たすエンティティが検索されます。(つまり、複数の条件間は AND で結合されます)

columnName	検索条件の対象となる項目 (Column オブジェクト) を指す項目コードです。																																		
operator	検索条件式です。 <table border="1" data-bbox="550 996 1434 1962"> <thead> <tr> <th>データ型</th> <th>指定可能な条件式</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">テキスト型</td> <td>=</td> <td>指定した検索条件値に完全に合致するエンティティのみを抽出します。</td> </tr> <tr> <td>forward</td> <td>指定した検索条件値に文字列の先頭が合致するエンティティのみを抽出します。</td> </tr> <tr> <td>backward</td> <td>指定した検索条件値に文字列の末尾が合致するエンティティのみを抽出します。</td> </tr> <tr> <td>partly</td> <td>指定した検索条件値を含むエンティティのみを抽出します。</td> </tr> <tr> <td>セレクト型</td> <td>=</td> <td>指定した検索条件値に合致するエンティティのみを抽出します。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">日時型</td> <td>=</td> <td>指定した検索条件値に合致するエンティティのみを抽出します。 (最小単位は「秒」です。タイムゾーンの違いは考慮しません)</td> </tr> <tr> <td>&gt;=</td> <td>指定した条件値よりも未来または同一の値を持つエンティティのみを抽出します。</td> </tr> <tr> <td>&lt;</td> <td>指定した条件値よりも過去の値を持つエンティティのみを抽出します。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">整数型</td> <td>=</td> <td>指定した検索条件値に合致するエンティティのみを抽出します。 (最小単位は「秒」です。タイムゾーンの違いは考慮しません)</td> </tr> <tr> <td>&gt;=</td> <td>指定した条件値よりも大きいまたは同一の値を持つエンティティのみを抽出します。</td> </tr> <tr> <td>&lt;=</td> <td>指定した条件値よりも小さいまたは同一の値を持つエンティティのみを抽出します。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">テキストエリア型</td> <td>=</td> <td>指定した検索条件値に完全に合致するエンティティのみを抽出します。</td> </tr> <tr> <td>forward</td> <td>指定した検索条件値に文字列の先頭が合致するエンティティのみを抽出します。</td> </tr> </tbody> </table>	データ型	指定可能な条件式	詳細	テキスト型	=	指定した検索条件値に完全に合致するエンティティのみを抽出します。	forward	指定した検索条件値に文字列の先頭が合致するエンティティのみを抽出します。	backward	指定した検索条件値に文字列の末尾が合致するエンティティのみを抽出します。	partly	指定した検索条件値を含むエンティティのみを抽出します。	セレクト型	=	指定した検索条件値に合致するエンティティのみを抽出します。	日時型	=	指定した検索条件値に合致するエンティティのみを抽出します。 (最小単位は「秒」です。タイムゾーンの違いは考慮しません)	>=	指定した条件値よりも未来または同一の値を持つエンティティのみを抽出します。	<	指定した条件値よりも過去の値を持つエンティティのみを抽出します。	整数型	=	指定した検索条件値に合致するエンティティのみを抽出します。 (最小単位は「秒」です。タイムゾーンの違いは考慮しません)	>=	指定した条件値よりも大きいまたは同一の値を持つエンティティのみを抽出します。	<=	指定した条件値よりも小さいまたは同一の値を持つエンティティのみを抽出します。	テキストエリア型	=	指定した検索条件値に完全に合致するエンティティのみを抽出します。	forward	指定した検索条件値に文字列の先頭が合致するエンティティのみを抽出します。
データ型	指定可能な条件式	詳細																																	
テキスト型	=	指定した検索条件値に完全に合致するエンティティのみを抽出します。																																	
	forward	指定した検索条件値に文字列の先頭が合致するエンティティのみを抽出します。																																	
	backward	指定した検索条件値に文字列の末尾が合致するエンティティのみを抽出します。																																	
	partly	指定した検索条件値を含むエンティティのみを抽出します。																																	
セレクト型	=	指定した検索条件値に合致するエンティティのみを抽出します。																																	
日時型	=	指定した検索条件値に合致するエンティティのみを抽出します。 (最小単位は「秒」です。タイムゾーンの違いは考慮しません)																																	
	>=	指定した条件値よりも未来または同一の値を持つエンティティのみを抽出します。																																	
	<	指定した条件値よりも過去の値を持つエンティティのみを抽出します。																																	
整数型	=	指定した検索条件値に合致するエンティティのみを抽出します。 (最小単位は「秒」です。タイムゾーンの違いは考慮しません)																																	
	>=	指定した条件値よりも大きいまたは同一の値を持つエンティティのみを抽出します。																																	
	<=	指定した条件値よりも小さいまたは同一の値を持つエンティティのみを抽出します。																																	
テキストエリア型	=	指定した検索条件値に完全に合致するエンティティのみを抽出します。																																	
	forward	指定した検索条件値に文字列の先頭が合致するエンティティのみを抽出します。																																	

	backward	指定した検索条件値に文字列の末尾が合致するエンティティのみを抽出します。
	partly	指定した検索条件値を含むエンティティのみを抽出します。
チェックボックス型	=	「true」を指定した選択肢のうち、1つ以上の選択肢にチェックが入られているエンティティのみを抽出します。
text	テキスト型/テキストエリア型の項目の場合には、この属性に検索条件値を指定します。	
num	整数型/セレクト型の項目の場合には、この属性に検索条件値を指定します。	
date	日時型の項目の場合には、この属性に検索条件値を指定します。	
checkbox	チェックボックス型の項目の場合には、この属性に検索条件値を指定します。	

※ セレクト型/チェックボックス型の値の指定方法は、[3.3 オブジェクトモデル](#)にて解説させていただいた「ItemData オブジェクトに値を指定する方法」と同一です。

- SortKey

検索結果の並び順を表すオブジェクトです。

columnCode	ソートキーとなる項目の項目コードです。
desc	昇順か降順かを表します。 false - 昇順 true - 降順

- SearchResponse

search オペレーションの出カパラメータです。

- Result

オペレーション実行結果を表すオブジェクトです。

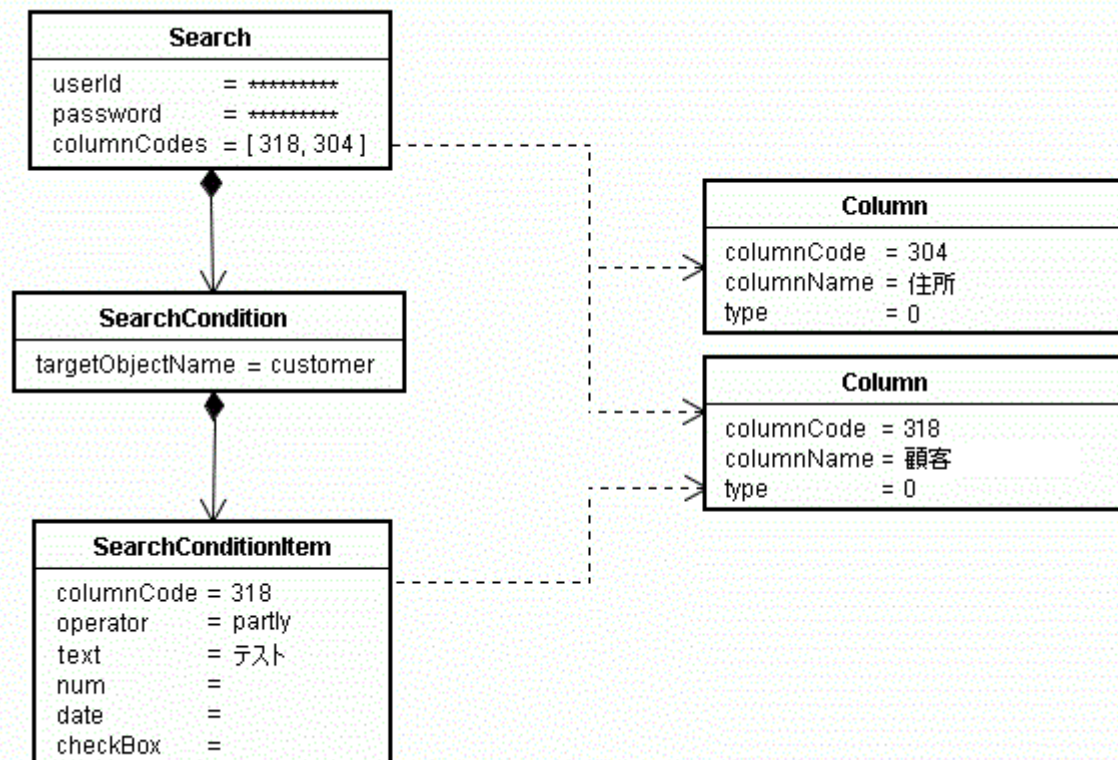
objects	検索結果です。
numOfObjects	検索結果の件数です。
hasMoreObjects	検索結果がまだ存在するか否かを取得します。 (詳細は「検索結果の件数が多量になる場合」を参照ください) false - 存在しない true - 存在する



例)

- ・顧客名に「テスト」を含む顧客を検索
- ・取得する項目情報は、顧客名と住所

という検索を行う際には、下図のような入力パラメータを構築します。



### 関連エンティティに対する条件指定

検索対象のエンティティが持つ項目だけではなく、関連エンティティが持つ項目を検索条件に使用することが出来ます。

関連エンティティ用の SearchCondition オブジェクトを構築し、元となる SearchCondition の relatedObjectConditions にセットしてください。

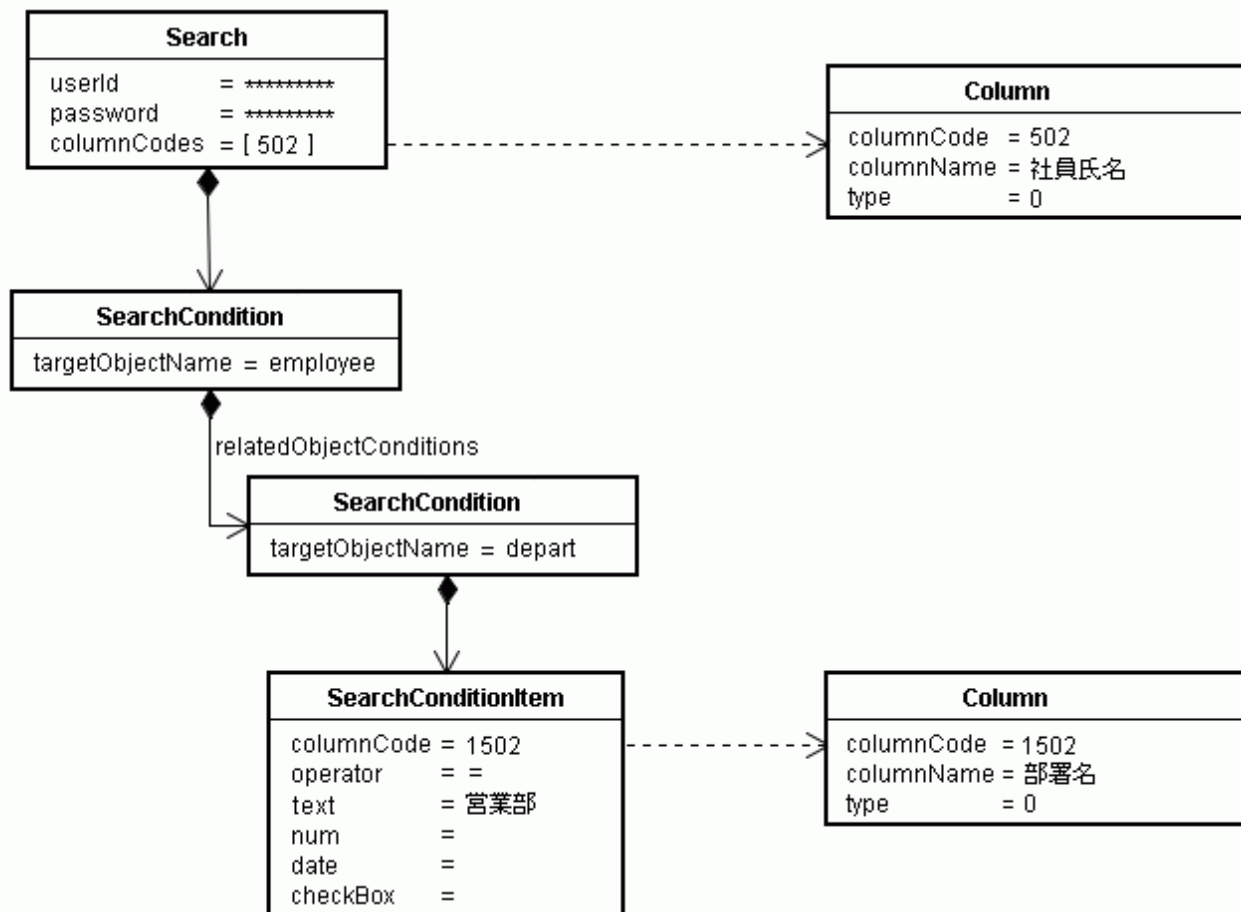
※ 指定できる関連エンティティは、検索対象のエンティティごとに異なります。詳細は、各エンティティのリファレンスを参照ください。

例)

部署「営業部」に所属する社員氏名一覧を検索する場合。

検索対象のエンティティは「社員」ですが、検索条件に使用するのは「部署」の項目です。

下記のような入力パラメータを構築します。

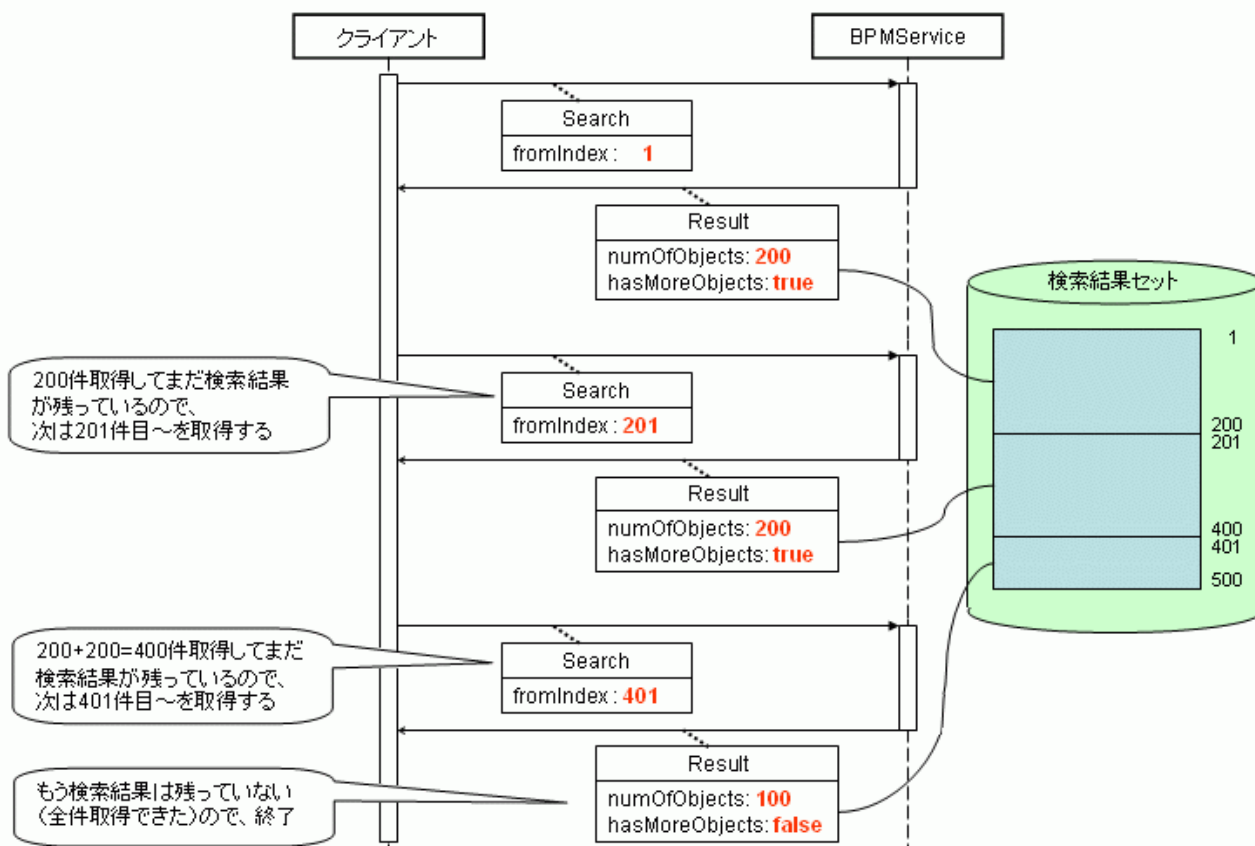


### 検索結果の件数が多量になる場合

検索結果セットの件数が [3.2 ライセンスで規定されている上限値](#) よりも多い場合には、1 回の search オペレーションの実行では全てのエンティティを取得することが出来ません。

全てのエンティティを取得するには、Result オブジェクトの「hasMoreObjects」が false になるまで、Search オブジェクトの「fromIndex」を変更しながら search オペレーションを複数回実行してください。

例) 1回の search オペレーションの取得上限 200 件、検索結果セット 500 件の場合



#### 【注意】

search オペレーションを複数回に分けて実行する際には、必ず Search オブジェクトの「sortKeys」を指定して並び順を固定してください。

並び順が固定されていないと、同じエンティティを重複して取得してしまう可能性があります。

## 3.7. ユーティリティ オペレーション

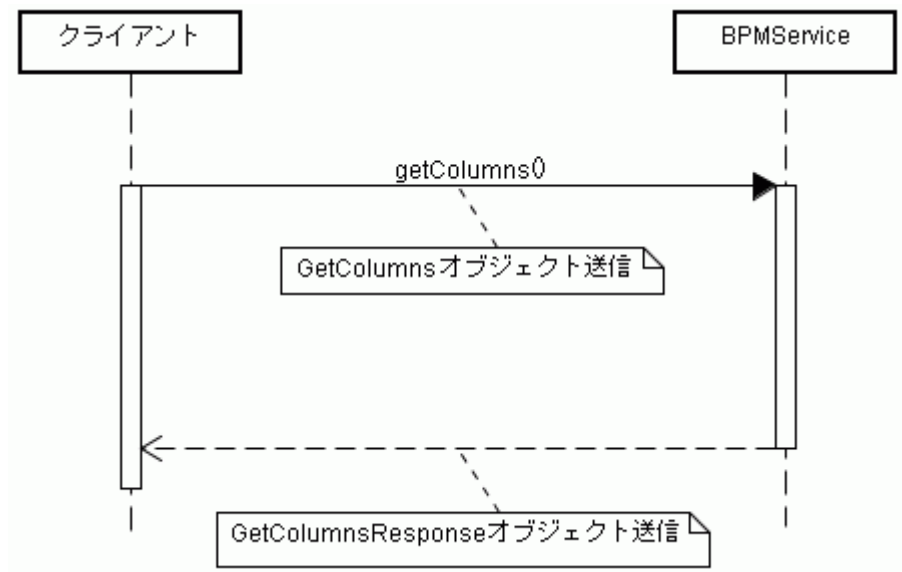
### 3.7.1. `getColumns`

エンティティの種類を指定し、項目一覧を取得します。

Web ブラウザを利用して下記 URL へアクセスすることで、SOAP ボディ部のみを取得可能です。

```
http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService/getColumns?userId=<ユーザーの識別子>&password=<パスワード>&objName=<エンティティ種別名>
```

処理シーケンスは下図のようになります。



- GetColumns

GetColumns オペレーションの入力パラメータです。

userId	認証情報です。
password	認証情報です。
objName	エンティティ種別名です。

- GetColumnsResponse

getColumns オペレーションの出力パラメータです。

- Result

オペレーション実行結果を表すオブジェクトです。

columns	Column オブジェクトの一覧です。
---------	---------------------

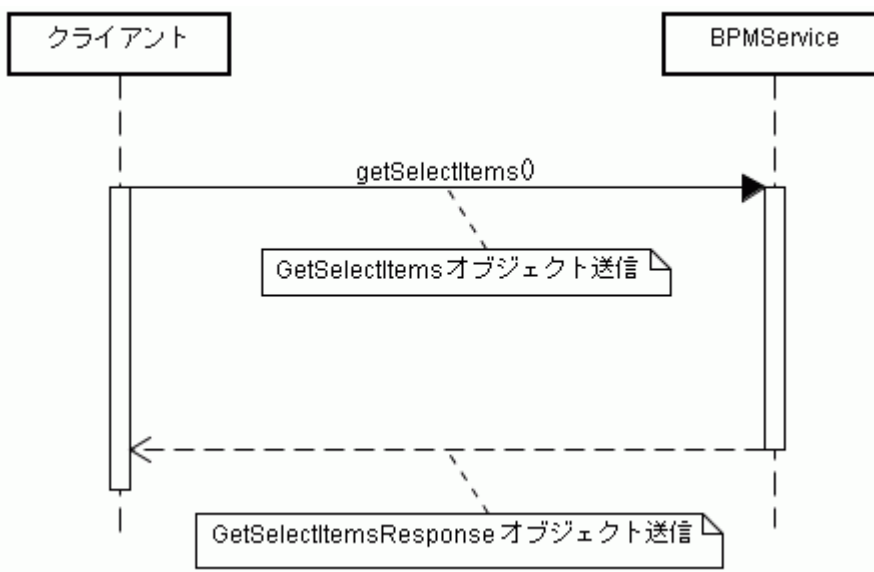
### 3.7.2. getSelectItems

指定したセレクト型項目の選択肢一覧を取得します。

Web ブラウザを利用して下記 URL へアクセスすることで、SOAP ボディ部のみを取得可能です。

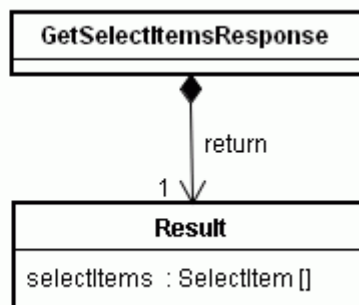
```
http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService/getSelectItems?userId=<
ユーザの識別子>&password=<パスワード>&objName=<エンティティ種別名>&columnCode=<項目コード
>
```

処理シーケンスは下図のようになります。



また、入力/出力パラメータオブジェクトのオブジェクトモデルは下記ようになります。

GetSelectItems	
userId	: string
password	: string
objName	: string
columnCode	: int



- GetSelectItems

getSelectItems オペレーションの入力パラメータです。

userId	認証情報です。
password	認証情報です。
objName	エンティティ種別名です。
columnCode	セレクト型項目の項目コードです。

- GetSelectItemsResponse

getSelectItems オペレーションの出力パラメータです。

- Result

オペレーション実行結果を表すオブジェクトです。

selectItems	指定されたセレクト型項目の選択肢一覧です。
-------------	-----------------------

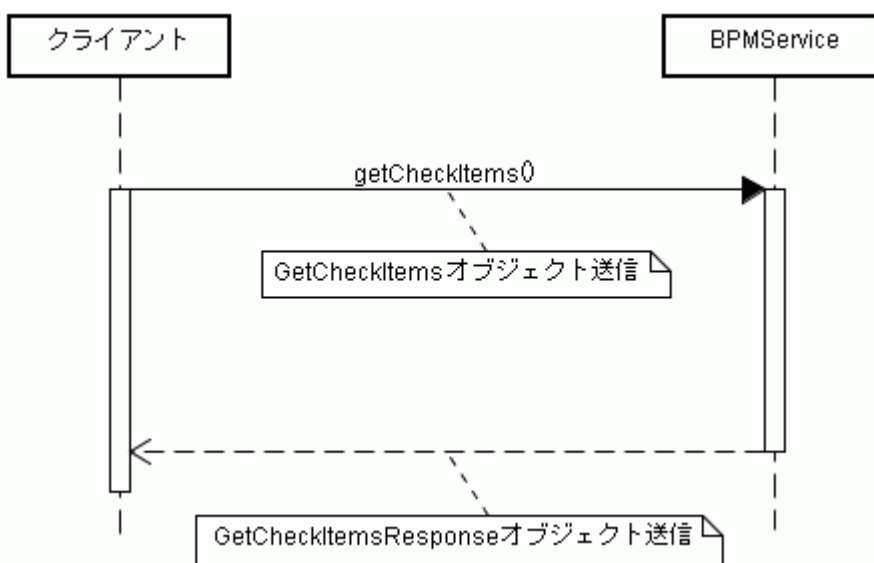
### 3.7.3. getCheckItems

指定したチェックボックス型項目の選択肢一覧を取得します。

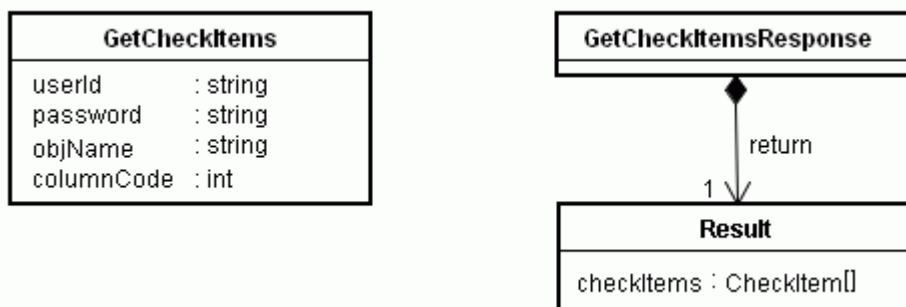
Web ブラウザを利用して下記 URL へアクセスすることで、SOAP ボディ部のみを取得可能です。

```
http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService/getCheckItems?userId=<
ユーザの識別子>&password=<パスワード>&objName=<エンティティ種別名>&columnCode=<項目コード
>
```

処理シーケンスは下図のようになります。



また、入力/出力パラメータオブジェクトのオブジェクトモデルは下記のようになります。



- GetCheckItems

getCheckItems オペレーションの入力パラメータです。

userId	認証情報です。
password	認証情報です。
objName	エンティティ種別名です。
columnCode	チェックボックス型項目の項目コードです。

- GetCheckItemsResponse

getCheckItems オペレーションの出力パラメータです。

- Result

オペレーション実行結果を表すオブジェクトです。

checkItems	指定されたチェックボックス型項目の選択肢一覧です。
------------	---------------------------

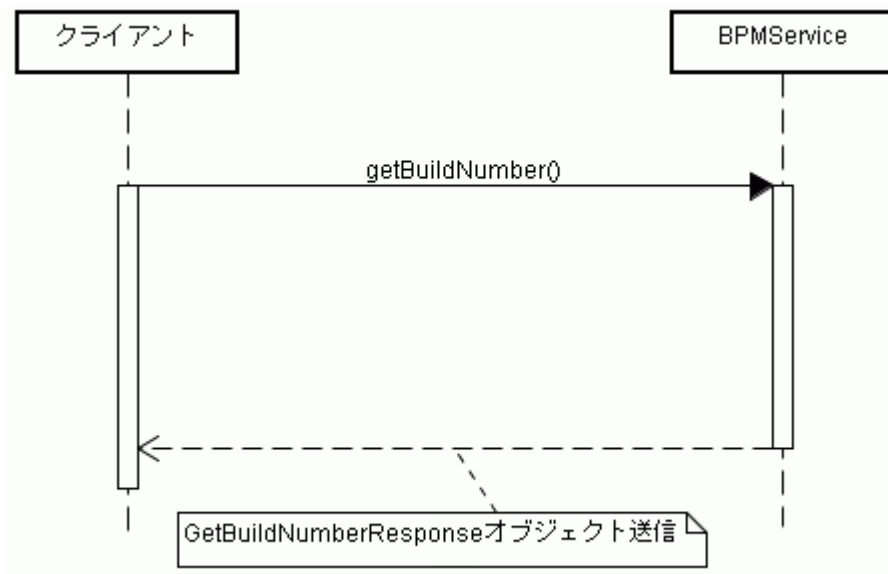
### 3.7.4. [getBuildNumber](#)

eセールスマネージャーRemix SOAP API のビルド番号を取得します。

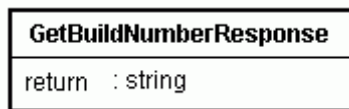
Web ブラウザを利用して下記 URL へアクセスすることで、SOAP ボディ部のみを取得可能です。

`http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService/getBuildNumber`

処理シーケンスは下図のようになります。



また、出力パラメータオブジェクトのオブジェクトモデルは下記ようになります。



- GetBuildNumberResponse

オペレーション実行結果を表すオブジェクトです。

return	eセールスマネージャーRemix SOAP API のビルド番号です。
--------	-------------------------------------

### 3.7.5. [getSupportedObjNames](#)

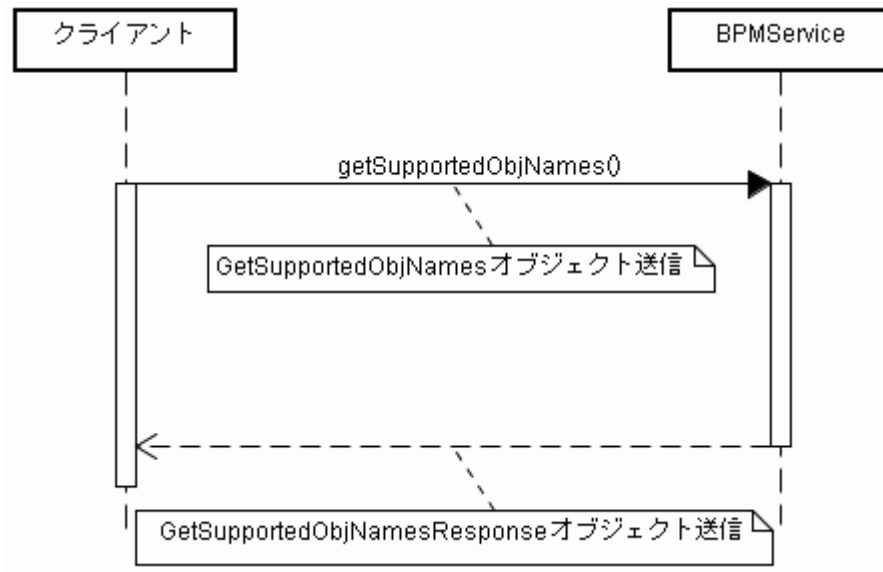
eセールスマネージャーRemix SOAP API がサポートしているエンティティの種類の一覧を取得します。

Web ブラウザを利用して下記 URL へアクセスすることで、SOAP ボディ部のみを取得可能です。

`http://<ホスト名>[:<ポート番号>]/<コンテキスト名>/soap_webservices/BPMService/getSupportedObjNames?userId=<ユーザーの識別子>&password=<パスワード>`



処理シーケンスは下図のようになります。



また、入カ/出カパラメータオブジェクトのオブジェクトモデルは下記のようにになります。

GetSupportedObjNames	
userId	: string
password	: string

GetSupportedObjNamesResponse	
return	: string[]

- GetSupportedObjNames

getSupportedObjNames オペレーションの入カパラメータです。

userId	認証情報です。
password	認証情報です。

- GetSupportedObjNamesResponse

getSupportedObjNames オペレーションの出カパラメータです。

return	エンティティの種類の一覧です。
--------	-----------------

## 3.8. エンティティ リファレンス

### 3.8.1. 部署・社員

#### 部署

エンティティの種別名は、**depart** です。

#### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
1501	部署コード	3 - 数値		★		◎	◎	○	○
1502	部署名	0 - テキスト	MAX 25 文字		◎	○		○	○
1503	所属部署コード	3 - 数値	<a href="#">depart</a> のプライマリキー		◎	○		○	○
1504	部署表示順	3 - 数値				○		○	○
1506	部署番号	0 - テキスト	MAX 50 文字		◎	○		○	○
1507	削除フラグ	3 - 数値	0 - 未削除 1 - 削除済		○	○		○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

#### ● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">employee</a>	自社担当者

#### 社員

エンティティの種別名は、**employee** です。

#### ● 制限事項

社員を delete オペレーションによって削除することは出来ません。

項目「部署名」(columnCode = 604) の値を-99 (部署「退職社員」を表します) に更新することで、同等の状態になります。

## ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
501	社員コード	3 - 数値		★		◎		○	○
502	社員氏名	0 - テキスト	MAX 50 文字		◎	○		○	○
503	社員氏名(かな)	0 - テキスト	MAX 50 文字		○	○		○	○
601	社員コード	3 - 数値						○	○
602	社員番号	0 - テキスト	MAX 50 文字		◎	○		○	○
603	役職名	1 - セレクト	<a href="#">post</a> のプライマリキー		◎	○		○	○
604	部署名	1 - セレクト	<a href="#">depart</a> のプライマリキー		◎	○		○	○
605	郵便番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 10 文字		○	○		○	○
606	住所	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○
685	建物名	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○
607	電話番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
608	携帯番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
609	電話番号 3	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
610	email	0 - テキスト	半角 MAX 50 文字		○	○		○	○
611	パスワード	0 - テキスト	平文ではなく、MD5 ダイジェスト 半角 MAX 32 文字		◎	○		○	○
613	主業務	1 - セレクト	<a href="#">business_type</a> のプライマリキー		◎	○		○	○
616	CSV ダウンロード 権限	6 - チェックボックス	配列要素は 1 つ false - 権限なし true - 権限あり		○	○		○	○
617	社員管理権限	1 - セレクト	配列要素は 1 つ 0 - 権限なし 1 - 権限あり		○	○		○	○
618	参照可能範囲	3 - 数値	<a href="#">depart</a> のプライマリキー		◎	○		○	○
619	運用管理者フラグ	3 - 数値	e 総務マネージャーの管理者権限 0 - 権限なし 1 - 権限あり		○	○		○	○
620	状態コード	3 - 数値			○	○		○	○
621	状態更新日時	11 - 日時						○	○
622	社員表示順	3 - 数値				○		○	○
623	印刷権限	6 - チェックボックス	配列要素は 1 つ		○	○		○	○

			false - 権限なし true - 権限あり						
624	標準最寄り駅	0 - テキスト	MAX 25 文字		○	○		○	○
625	CTI 電話コード	3 - 数値			○	○		○	○
626	ルールエンジンメ ールフラグ	3 - 数値	0 - 編集しない 1 - 編集する		○	○		○	○
627	承認者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー		○	○		○	○
628	デフォルトページ	0 - テキスト			○	○		○	○
661	管理者ログイン権 限	1 - セレクト	0 - 権限なし 1 - 権限あり		○	○		○	○
662	携帯端末 ID	0 - テキスト	半角 MAX 200 文字		○	○		○	○
663	携帯端末 ID 認証フ ラグ	3 - 数値	0 - 行わない 1 - 行う		○	○		○	○
668	顧客情報管理権限	1 - セレクト	0 - 権限なし 1 - 権限あり		○	○		○	○
669	登録日	11 - 日時						○	○
670	登録社員コード	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
671	変更日	11 - 日時						○	○
672	変更社員コード	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
673	予実参照権限	1 - セレクト	1 - 参照不可 2 - 本人の予実のみ参照可 3 - 所属部署以下の予実を参照可 4 - 全部書の予実を参照可		○	○		○	○
674	予算確定権限	6 - チェックボックス	配列要素は 1 つ false - 権限なし true - 権限あり		○	○		○	○
692	アナリティクスパ スワード	0 - テキスト			○	○		○	○
693	アナリティクス ID	0 - テキスト						○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能、■ - 非推奨

● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">business</a>	自社担当者
<a href="#">communication</a>	登録者
<a href="#">person</a>	名刺受取人
<a href="#">schedule</a>	スケジュール保有者
<a href="#">depart</a>	所属部署

## 役職

エンティティの種別名は、**post** です。

● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
1601	役職コード	3 - 数値		★		◎	◎	○	○
1602	役職名	0 - テキスト	MAX 25 文字		◎	○		○	○
1603	役職表示順	3 - 数値				○		○	○
1604	登録未使用フラグ	3 - 数値	0 - 使用する 1 - 使用しない		○	○		○	○
1605	検索未使用フラグ	3 - 数値	0 - 使用する 1 - 使用しない		○	○		○	○
1606	役職外部キー	0 - テキスト	MAX 50 文字		○	○		○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">business</a>	自社担当者

### 3.8.2. 顧客

エンティティの種別名は、**customer** です。

## ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
301	顧客名	0 - テキスト	MAX 100 文字		◎	○		○	○
302	顧客名(かな/その他名称)	0 - テキスト	MAX 100 文字		○	○		○	○
303	郵便番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 10 文字		○	○		○	○
304	住所	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○
370	建物名	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○
305	電話番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
306	電話番号 2	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
307	FAX 番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
308	URL	0 - テキスト	半角 MAX 1000 文字		○	○		○	○
309	詳細内容	4 - テキストエリア	MAX 2000 文字		○	○		○	○
310	上場フラグ	3 - 数値	0 - 上場していない 1 - 上場している		○	○		○	○
311	代表者名	0 - テキスト	MAX 25 文字		○	○		○	○
312	代表者名(かな)	0 - テキスト	MAX 50 文字		○	○		○	○
313	創立記念日	2 - 日付			○	○		○	○
315	資本金	3 - 数値			○	○		○	○
316	従業員数	3 - 数値			○	○		○	○
318	顧客コード	3 - 数値		★		◎	◎	○	○
323	登録日	11 - 日時						○	○
324	登録者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
325	最終更新日	11 - 日時						○	○
326	最終更新者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
328	顧客タイプ	1 - セレクト			○	○		○	○
335	確認フラグ	3 - 数値	CSV インポート後の確認 0 - 未確認 1 - 確認済		○	○		○	○
336	マスキングフラグ	3 - 数値	0 - されていない 1 - マスキング済					○	○
338	代理店フラグ	3 - 数値	0 - 代理店ではない 1 - 代理店である		○	○		○	○
339	顧客ランク	1 - セレクト	選択肢は <a href="#">getSelectItems</a> オペレーションを使用して取得		○	○		○	○
340	業種	1 - セレクト	選択肢は <a href="#">getSelectItems</a> オペレーションを使用して取得		○	○		○	○

341	顧客階層	3 - 数値	1 - 5 階層		○	○		○	○
342	親顧客	3 - 数値			○	○		○	○
343	親顧客 1	3 - 数値						○	○
344	親顧客 2	3 - 数値						○	○
345	親顧客 3	3 - 数値						○	○
346	親顧客 4	3 - 数値						○	○
347	親顧客 5	3 - 数値						○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

### ● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">business</a>	
<a href="#">person</a>	
<a href="#">customer</a>	親顧客
<a href="#">customize</a>	<a href="#">紐付項目</a> による関連

### 3.8.3. 名刺

エンティティの種別名は、**person** です。

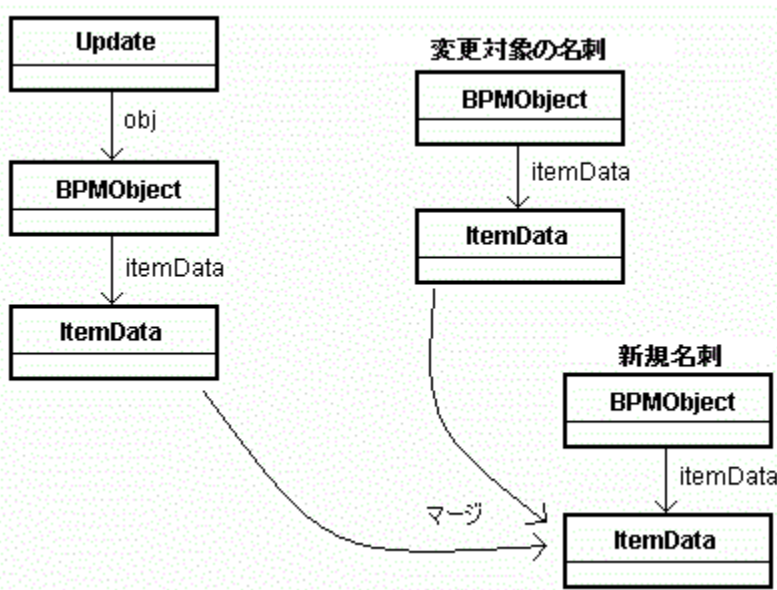
#### ● 更新時の注意事項

名刺は、変更履歴情報を保存しています。

そのため、update オペレーションによる更新の結果は、他のエンティティとは異なります。

1. 変更対象に指定した名刺は、実際には更新されません。

代わりに、新規に名刺が追加されます。(プライマリキーである「名刺 ID」も新規に発番されます)  
 update オペレーションで値が指定されている項目はその値に、指定されていない項目は変更前の値を引き継ぎます。



2. 変更対象の名刺の項目「変更フラグ」(columnCode = 929) の値が"1"に更新されます。  
 これにより、変更対象の名刺は「履歴情報」へと扱いが変化します。

(新規に追加された名刺の「変更フラグ」の値は"0"です)

3. 最新の名刺と履歴情報とは、同一の「名刺コード」(columnCode = 928) を持つことで関連付きます。

変更対象の名刺	
変更フラグ	= 1
名刺コード	= 13579

新規名刺	
変更フラグ	= 0
名刺コード	= 13579

### ● 削除時の注意事項

名刺の削除は、下記のような特性を持っています。

- 名刺を削除する際には、履歴情報も併せて削除されます。
- 履歴情報のみを削除することはできません。(削除しようとすると、SOAP Fault が発生します)
- 標準項目の詳細情報



項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
901	名刺履歴コード	3 - 数値		★		◎	◎	○	○
902	顧客コード	3 - 数値	<a href="#">customer</a> のプライマリキー		◎	○		○	○
903	パーソン氏名	0 - テキスト	MAX 50 文字		◎	○		○	○
904	部署名	0 - テキスト	MAX 50 文字		○	○		○	○
905	役職名	0 - テキスト	MAX 50 文字		○	○		○	○
906	郵便番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 10 文字		○	○		○	○
907	住所	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○
945	建物名	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○
909	電話番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
910	内線番号	0 - テキスト	半角 MAX 5 文字		○	○		○	○
911	FAX 番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
912	携帯番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
913	携帯 mail	0 - テキスト	半角 MAX 50 文字		○	○		○	○
914	email	0 - テキスト	半角 MAX 100 文字		○	○		○	○
915	URL	0 - テキスト	半角 MAX 1000 文字		○	○		○	○
916	詳細内容	0 - テキスト	MAX 300 文字		○	○		○	○
918	氏名 (よみ)	0 - テキスト	MAX 50 文字		○	○		○	○
925	在職フラグ	3 - 数値	0 - 在職していない 1 - 在職している		○	○		○	○
927	確認フラグ	3 - 数値	CSV インポート後の確認  0 - 未確認 1 - 確認済		○	○		○	○
928	名刺コード	3 - 数値						○	○
929	変更フラグ	3 - 数値	0 - 変更されていない 1 - 変更済み (このレコードは履歴情報)					○	○
931	マスキングフラグ	3 - 数値	0 - されていない 1 - マスキング済					○	○
932	登録日	11 - 日時						○	○
933	登録者社員コード	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
934	変更日	11 - 日時						○	○
935	変更者社員コード	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
939	役職タイプ	1 - セレクト	選択肢は <a href="#">getSelectItems</a> オペレーションを使用して取得		○	○		○	○
940	部署タイプ	1 - セレクト	選択肢は <a href="#">getSelectItems</a> オペレーションを使用して取得		○	○		○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

### ● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">employee</a>	名刺受取人
<a href="#">customer</a>	
<a href="#">business</a>	客先担当者
<a href="#">communication</a>	当日面談者
<a href="#">customize</a>	<a href="#">紐付項目</a> による関連

### 3.8.4. 案件

エンティティの種別名は、**business** です。

### ● 受注予定金額、仕入、粗利について

insert/update オペレーション実行時に、「受注予定金額」や「仕入」を指定する場合には、「粗利」は指定しないでください。(自動計算されます)

### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
201	案件コード	3 - 数値		★		◎	◎	○	○
202	案件名	0 - テキスト	MAX 100 文字		◎	○		○	○
203	部署名	0 - テキスト	MAX 100 文字		○	○		○	○
204	窓口氏名	0 - テキスト	MAX 50 文字		○	○		○	○
205	窓口氏名(かな)	0 - テキスト	MAX 50 文字		○	○		○	○
206	窓口役職	0 - テキスト	MAX 25 文字		○	○		○	○
207	郵便番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 10 文字		○	○		○	○
208	住所	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○
260	建物名	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○
209	電話番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
210	電話番号 2	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○

211	内線番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
212	FAX 番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 20 文字		○	○		○	○
213	email	0 - テキスト	半角 MAX 50 文字		○	○		○	○
214	詳細内容	4 - テキストエリア	MAX 2000 文字		○	○		○	○
216	顧客コード	3 - 数値	<a href="#">customer</a> のプライマリキー		◎			○	○
221	登録日	11 - 日時						○	○
222	登録者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
223	最終更新日	11 - 日時						○	○
224	最終更新者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
226	顧客特別管理 項目フラグ	3 - 数値	0 - 通常案件 1 - 一般対応案件					○	○
230	継続/終了	3 - 数値	0 - 継続 1 - 終了		○	○		○	○
231	案件タイプ	1 - セレクト			○	○		○	○
232	業務タイプ	1 - セレクト	<a href="#">business_type</a> のプライマリキー		○	○		○	○
234	社員グループ	1 - セレクト			○	○		○	○
245	編集グループ	1 - セレクト			○	○		○	○
246	マスキングフ ラグ	3 - 数値	0 - されていない 1 - マスキング済					○	○
248	受注 (予定) 金額	3 - 数値			○	○		○	○
249	確度	1 - セレクト	insert/update 時には、「主担当者 (c olumnCode = 297)」の指定が必要 になります。		○	○		○	○
250	受注 (予定) 日	2 - 日付	(insert 時には必須、update 時には まだ登録されていない場合は必須)		○	○		○	○
251	仕入 (予定) 金額	3 - 数値			○	○		○	○
252	粗利 (見込) 金額	3 - 数値			○	○		○	○
253	インシデント 番号	0 - テキスト	MAX 50 文字					○	○
256	進捗状況	1 - セレクト	<a href="#">progress</a> のプライマリキー		○	○		○	○
257	勝因	6 - チェックボックス	<a href="#">getCheckItems</a> オペレーションを使 用して取得		○	○		○	○
258	敗因	6 - チェックボックス	<a href="#">getCheckItems</a> オペレーションを使 用して取得		○	○		○	○
297	主担当者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー		○	○			

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

- 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">employee</a>	自社担当者
<a href="#">customer</a>	
<a href="#">person</a>	
<a href="#">product</a>	
<a href="#">communication</a>	
<a href="#">schedule</a>	
<a href="#">customize</a>	<a href="#">紐付項目</a> による関連

## 業務タイプ

エンティティの種別名は、**business\_type** です。

- 制限事項

下記の操作は実行できません。

- insert オペレーションによる新規登録
- update オペレーションによる更新
- delete オペレーションによる削除

- 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリーキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
2201	業務タイプコード ID	3 - 数値		★				○	○
2202	業務タイプ名	0 - テキスト	MAX 30 文字					○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

- 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

指定可能な関連オブジェクトはありません。

## 自社担当者

エンティティの種別名は、**business\_employee** です。

### ● 制限事項

対象の案件が売上計上済みの場合、主担当者が居なくなってしまうような操作はできません。

- update オペレーションを使用して、主担当者の「担当者権限タイプ」を通常の担当者にする
- delete オペレーションを使用して、主担当者を削除する

### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
-100	案件コード	3 - 数値	<a href="#">business</a> のプライマリー	★	◎	◎	◎	○	○
-101	社員コード	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリー	★	◎	◎	◎	○	○
-102	担当者権限タイプ	3 - 数値	0 - 通常の担当者 1 - 主担当者		○	◎		○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

### ● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">employee</a>	
<a href="#">business</a>	

## 客先担当者

エンティティの種別名は、**business\_person** です。

### ● 制限事項

update オペレーションによる更新は行えません。

### ● 削除時の注意事項

delete オペレーションによる削除の際には、プライマリーではなく案件コードを指定してください。その案件に関連付く客先担当者情報が全て削除されます。

### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
-100	案件客先担当者コード	3 - 数値		★				○	○
-101	立場	3 - 数値			◎			○	○
-102	名刺履歴コード	3 - 数値	<a href="#">person</a> のプライマリキー		◎			○	○
-103	案件コード	3 - 数値	<a href="#">business</a> のプライマリキー		◎		◎	○	○
-104	窓口フラグ	3 - 数値	0 - 窓口ではない 1 - 窓口である		◎			○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

### ● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">person</a>	

### 商品情報項目

エンティティの種別名は、**business\_product** です。

### ● 更新時の注意事項

update オペレーションによる更新の際には、商品コードと案件コードを指定してください。

### ● 削除時の注意事項

delete オペレーションによる削除の際には、商品コードと案件コードを指定してください。

### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
800	商品コード	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー	★	◎	◎	◎	○	○
801	数量	3 - 数値			○	○		○	○
802	金額	3 - 数値			○	○		○	○
804	案件コード	3 - 数値	<a href="#">business</a> のプライマリキー	★	◎	◎	◎	○	○
805	受注（予定）金額	3 - 数値			○	○		○	○
806	仕入（予定）金額	3 - 数値			○	○		○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

- 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">product</a>	
<a href="#">business</a>	

## 代理店

エンティティの種別名は、**agency** です。

- 削除時の注意事項

delete オペレーションによる削除の際には、プライマリーキーではなく案件コード（紐付き元案件コード）を指定してください。

その案件に関連付く代理店情報が全て削除されます。

- 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリーキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
-100	代理店コード	3 - 数値		★		◎		○	○
-101	案件コード	3 - 数値	<a href="#">business</a> のプライマリーキー		◎	◎	◎	○	○
-102	顧客コード	3 - 数値	<a href="#">customer</a> のプライマリーキー		◎	◎		○	○
-103	一次代理店	3 - 数値	0 - 一次代理店ではない 1 - 一次代理店である		◎	◎		○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

- 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">customer</a>	
<a href="#">business</a>	

## 案件タイプ

エンティティの種別名は、**plan\_type** です。

### ● 制限事項

下記の操作は実行できません。

- insert オペレーションによる新規登録
- update オペレーションによる更新
- delete オペレーションによる削除

### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
3201	案件タイプコード	3 - 数値		★				○	○
3202	案件タイプ名	0 - テキスト	MAX 50 文字					○	○
3203	顧客タイプコード	3 - 数値						○	○
3206	削除フラグ	3 - 数値	0 - 使用可 1 - 使用不可					○	○
3207	案件タイプ表示順	3 - 数値						○	○
3208	親案件業務タイプ	3 - 数値	<a href="#">business_type</a> のプライマリキー					○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

### ● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

指定可能な関連オブジェクトはありません。

### 3.8.5. 活動

エンティティの種別名は、**communication** です。

### ● 活動内容／活動時間と商品情報項目

ItemData オブジェクトによる属性値指定の他に、関連オブジェクト「活動内容／活動時間」「商品情報項目」を指定することが出来ます。

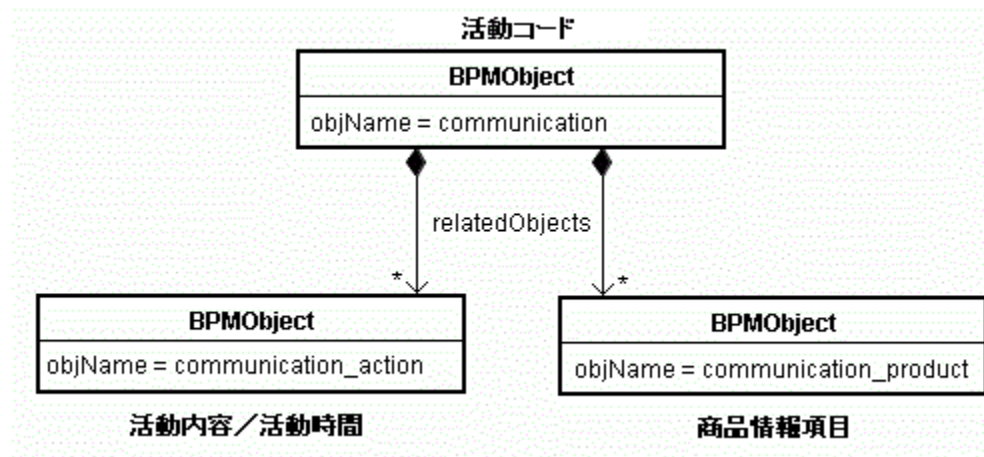
これらの関連オブジェクトは、活動に対するオペレーションの実行に際して、下記のような特性を持っています。

- insert オペレーション時には、指定必須
- update オペレーション時には、指定可能
- delete オペレーション時に明示的に指定する必要はありません（活動削除時に、「活動内容」「商品情報項目」も削除されます）



- search オペレーション時に併せて取得することは出来ません。別途 search オペレーションを実行する必要があります

指定する際には、活動を表す BPMObject オブジェクトの relatedObjects 属性に、活動内容・商品情報項目を表す BPMObject オブジェクトを指定してください。



### ● 制限事項

本バージョンの eセールスマネージャーRemix Web API では、キャンペーン活動の登録/変更を行えません。

### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
101	活動コード	3 - 数値		★		◎	◎	○	○
102	案件コード	3 - 数値	<a href="#">business</a> のプライマリキー		◎			○	○
103	報告者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー		◎			○	○
104	訪問日	11 - 日時			◎	○		○	○
105	当日面談者	0 - テキスト	MAX 50 文字		○	○		○	○
107	活動時間	3 - 数値			○	○		○	○
108	開始時刻	11 - 日時			○	○		○	○
109	終了時刻	11 - 日時			○	○		○	○
113	進捗状況	3 - 数値	<a href="#">progress</a> のプライマリキー		◎	○		○	○
116	業務タイプ	1 - セレクト	<a href="#">business_type</a> のプライマリキー		◎	○		○	○
118	詳細内容	4 - テキストエリア	MAX 2000 文字		○	○		○	○
119	継続/終了	3 - 数値	0 - 継続 1 - 終了		○	○		○	○
120	レポートタイプ	3 - 数値	0 - 通常の CmS 1 - 案件に対するキャンペーン活					○	○

			動の、一括活動 2 - 案件に対するキャンペーン活動の、個々の活動 3 - 名刺に対するキャンペーン活動の、一括活動 4 - 名刺に対するキャンペーン活動の、個々の活動						
121	キャンペーン活動コード	3 - 数値	<a href="#">communication</a> のプライマリキー  レポートタイプ = 2 or 4 のときのみ使用。一括 CmS を指す					○	○
123	状態	3 - 数値	日報承認状況。  1 - 未提出 2 - 提出中 3 - 修正依頼 4 - 再提出中 5 - 承認済					○	○
124	承認者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
127	計上情報	3 - 数値						○	○
130	最終更新日	11 - 日時						○	○
135	粗利 (見込) 金額	3 - 数値		○	○			○	○
136	登録者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
137	登録日	11 - 日時						○	○
138	最終更新者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
139	仕入 (予定) 金額	3 - 数値		○	○			○	○
140	確度	1 - セレクト		○	○			○	○
141	受注 (予定) 日	2 - 日付		○	○			○	○
142	受注 (予定) 金額	3 - 数値		○	○			○	○
143	次回訪問日	2 - 日付		○	○			○	○
144	勝因	6 - チェックボックス	<a href="#">getCheckItems</a> オペレーションを使用して取得	○	○			○	○
145	敗因	6 - チェックボックス	<a href="#">getCheckItems</a> オペレーションを使用して取得	○	○			○	○
147	ネクストアクション	2 - 日付		○	○			○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

- 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">employee</a>	報告者
<a href="#">business</a>	
<a href="#">person</a>	当日面談者
<a href="#">communication_product</a>	
<a href="#">communication_person</a>	
<a href="#">communication_action</a>	
<a href="#">customize</a>	紐付項目による関連

### 活動内容／活動時間

エンティティの種別名は、**communication\_action** です。

- 制限事項

このエンティティ単独で下記の操作は実行できません。

(活動の新規登録／更新／削除時に、併せて行います)

- insert オペレーションによる新規登録
- update オペレーションによる更新
- delete オペレーションによる削除

- 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
2802	活動内容	3 - 数値	<a href="#">action</a> のプライマリキー					○	○
2803	活動時間	3 - 数値						○	○
2804	活動コード	3 - 数値	<a href="#">communication</a> のプライマリキー					○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

- 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

指定可能な関連オブジェクトはありません。

## 商品情報項目

エンティティの種別名は、**communication\_product** です。

- 制限事項

update オペレーションによる更新は行えません。

- 削除時の注意事項

delete オペレーションによる削除の際には、活動コードを指定してください。

その活動に関連付く商品情報項目が全て削除されます。

- 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
701	数量	3 - 数値			○			○	○
702	金額	3 - 数値			○			○	○
704	活動コード	3 - 数値	<a href="#">communication</a> のプライマリキー	★	◎		◎	○	○
705	商品コード	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー	★	◎			○	○
706	受注（予定）金額	3 - 数値			○			○	○
707	仕入（予定）金額	3 - 数値			○			○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

- 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">product</a>	

## 当日面談者

エンティティの種別名は、**communication\_person** です。

- 制限事項

update オペレーションによる更新は行えません。

### ● 削除時の注意事項

delete オペレーションによる削除の際には、活動コードを指定してください。

その活動に関連付く当日面談者情報が全て削除されます。

### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
2302	名刺履歴コード	3 - 数値	<a href="#">person</a> のプライマリキー		◎			○	○
2303	活動コード	3 - 数値	<a href="#">communication</a> のプライマリキー		◎		◎	○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

### ● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">person</a>	

## 活動内容マスタ

エンティティの種別名は、**action** です。

### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
2401	活動内容コード	3 - 数値		★		◎	◎	○	○
2402	活動内容名	0 - テキスト	MAX 30 文字		◎	◎		○	○
2403	削除フラグ	3 - 数値	0 - 使用 1 - 使用不可		◎	◎		○	○
2404	並び順	3 - 数値			◎	◎		○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

### ● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

指定可能な関連オブジェクトはありません。

## 進捗状況マスタ

エンティティの種別名は、**progress** です。

### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
2501	進捗状況コード	3 - 数値		★		◎	◎	○	○
2502	進捗状況名	0 - テキスト	MAX 30 文字		◎	◎		○	○
2504	売上入力フラグ	3 - 数値	0 - 入力しない 1 - 入力する		◎	◎		○	○
2505	削除フラグ	3 - 数値	0 - 使用 1 - 使用不可		◎	◎		○	○
2506	進捗表示順	3 - 数値				◎		○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

### ● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

指定可能な関連オブジェクトはありません。

## 3.8.6. スケジュール

エンティティの種別名は、**schedule** です。

### ● 制限事項

本バージョンの eセールスマネージャーRemix SOAP API では、下記の操作を行えません。

- 定例スケジュールの登録
- チームスケジュールの登録

## ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
1301	スケジュールコード	3 - 数値		★		◎	◎	○	○
1302	社員コード	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー		◎	○		○	○
1303	スケジュール開始日時	11 - 日時			◎	○		○	○
1304	スケジュール終了日時	11 - 日時			◎	○		○	○
1305	スケジュール件名	0 - テキスト	MAX 50 文字		◎	○		○	○
1306	場所	0 - テキスト	MAX 25 文字		○	○		○	○
1307	スケジュール内容	4 - テキストエリア	MAX 1000 文字		○	○		○	○
1308	登録者部署コード	3 - 数値	<a href="#">depart</a> のプライマリキー					○	○
1309	郵便番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 10 文字		○	○		○	○
1310	住所	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○
1316	建物名	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○
1401	スケジュールコード	3 - 数値						○	○
1402	当日面談者	0 - テキスト	MAX 50 文字		○	○		○	○
1403	スケジュール種別	3 - 数値	<a href="#">schedule_type</a> のプライマリキー		◎	○		○	○
1405	案件コード	3 - 数値	<a href="#">business</a> のプライマリキー		○	○		○	○
1406	定例スケジュールコード	3 - 数値						○	○
1407	スケジュール公開フラグ	3 - 数値	0 - 公開 1 - 非公開		○	○		○	○
1412	登録社員コード	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
1413	参加状態	3 - 数値	0 - 未確認 1 - 出席 2 - 欠席					○	○
1414	応答メッセージ	4 - テキストエリア	MAX 150 文字					○	○
1415	登録日時	11 - 日時						○	○
1416	チームスケジュールコード	3 - 数値						○	○
1417	スケジュールタイプ	3 - 数値	1 - 通常 2 - 終日 3 - 長期 4 - 定例		◎	○		○	○
1418	業務タイプ	3 - 数値	<a href="#">business_type</a> のプライマリキー		○	○		○	○
1419	変更者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
1420	変更日	11 - 日時						○	○
1421	スケジュール変更フラグ	3 - 数値	0 - 変更不可 1 - 変更可		○	○		○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">employee</a>	スケジュールの保有者
<a href="#">business</a>	
<a href="#">person</a>	当日面談者
<a href="#">schedule_person</a>	当日面談者

スケジュール種別

エンティティの種別名は、**schedule\_type** です。

スケジュールの項目「スケジュール種別」の選択肢です。

● 制限事項

下記の操作は実行できません。

- insert オペレーションによる新規登録
- update オペレーションによる更新
- delete オペレーションによる削除

● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
3001	スケジュールタイプコード	3 - 数値		★				○	○
3002	スケジュールタイプ名	0 - テキスト	MAX 30 文字					○	○
3004	表示フラグ	3 - 数値	0 - 表示しない 1 - 表示する					○	○
3005	表示順	3 - 数値						○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能



- 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

指定可能な関連オブジェクトはありません。

### 当日面談者

エンティティの種別名は、`schedule_person` です。

スケジュールの項目「当日面談者」に相当します。

schedule エンティティで直接操作することは出来ませんので、本エンティティで別途操作してください。

- 制限事項

update オペレーションによる更新は行えません。

- 削除時の注意事項

delete オペレーションによる削除の際には、プライマリキーではなくスケジュールコードを指定してください。

そのスケジュールに関連付く当日面談者情報が全て削除されます。

- 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
1801	スケジュール当日面談者コード	3 - 数値		★				○	○
1802	名刺履歴コード	3 - 数値	<a href="#">person</a> のプライマリキー		◎			○	○
1803	スケジュールコード	3 - 数値	<a href="#">schedule</a> のプライマリキー		◎		◎	○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

- 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">schedule</a>	
<a href="#">person</a>	

### 3.8.7. ToDo

エンティティの種別名は、**todo** です。

#### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
3501	TODO コード	3 - 数値		★		◎	◎	○	○
3502	ToDo 名	0 - テキスト	MAX 50 文字		◎	○		○	○
3503	案件コード	3 - 数値	<a href="#">business</a> のプライマリキー		○	○		○	○
3505	客先担当者	0 - テキスト	MAX 50 文字		○	○		○	○
3506	業務タイプ	3 - 数値	<a href="#">business_type</a> のプライマリキー		○	○		○	○
3508	完了予定日	2 - 日付			○	○		○	○
3509	完了日	2 - 日付				○		○	○
3510	優先度	3 - 数値	3 - 優先度 A 2 - 優先度 B 1 - 優先度 C		◎	○		○	○
3511	警告日	3 - 数値			○	○		○	○
3512	ToDo 詳細	4 - テキストエリア	MAX 150 文字		○	○		○	○
3513	非表示フラグ	3 - 数値	0 - 表示 1 - 非表示		○	○		○	○
3514	担当社員コード	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー		◎			○	○
3515	チーム ToDo コード	3 - 数値						○	○
3516	登録日	11 - 日時						○	○
3517	登録者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
3518	最終更新日	11 - 日時						○	○
3519	最終更新者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
3520	郵便番号	0 - テキスト	ハイフン込み 半角 MAX 10 文字		○	○		○	○
3521	住所	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○
3525	建物名	0 - テキスト	MAX 450 文字		○	○		○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

- 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">employee</a>	ToDo の保有者
<a href="#">business</a>	
<a href="#">person</a>	客先担当者
<a href="#">todo_person</a>	客先担当者

### 客先担当者

エンティティの種別名は、**todo\_person** です。

ToDo の項目「客先担当者」に相当します。

todo エンティティで直接操作することは出来ませんので、本エンティティで別途操作してください。

- 制限事項

update オペレーションによる更新は行えません。

- 削除時の注意事項

- delete オペレーションによる削除の際には、プライマリキーではなく ToDo コードと名刺 ID を指定してください。

- 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
3601	ToDo お客様担当者コード	3 - 数値		★				○	○
3602	名刺 ID	3 - 数値	<a href="#">person</a> のプライマリキー		◎		◎	○	○
3603	ToDo コード	3 - 数値	<a href="#">todo</a> のプライマリキー		◎		◎	○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

- 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">todo</a>	
<a href="#">person</a>	

### 3.8.8. 商品

エンティティの種別名は、**product** です。

#### ● 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時指定	更新時指定	削除時指定	検索条件	検索結果
401	商品コード	3 - 数値		★		◎	◎	○	○
402	所属カテゴリ	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー		◎	○		○	○
403	商品名	0 - テキスト	MAX 50 文字		◎	○		○	○
404	単価	3 - 数値			○	○		○	○
405	表示フラグ	3 - 数値	0 - 使用可 1 - 使用不可		○	○		○	○
406	カテゴリフラグ	3 - 数値	0 - 商品 1 - カテゴリ		○			○	○
407	カテゴリ 1	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー					○	○
408	カテゴリ 2	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー					○	○
409	カテゴリ 3	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー					○	○
410	カテゴリ 4	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー					○	○
411	カテゴリ 5	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー					○	○
412	カテゴリ 6	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー					○	○
413	カテゴリ 7	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー					○	○
414	カテゴリ 8	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー					○	○
415	カテゴリ 9	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー					○	○
416	カテゴリ 10	3 - 数値	<a href="#">product</a> のプライマリキー					○	○
418	深さ	3 - 数値						○	○
419	表示順	3 - 数値			○	○		○	○
420	更新日	11 - 日時						○	○
421	更新者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
422	登録日	11 - 日時						○	○
423	登録者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

#### ● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">business</a>	案件
<a href="#">communication</a>	活動

### 3.8.9. 拡張シート

エンティティの種別名は、`customize_xxxxx` (xxxxx : 拡張シートコード) です。eセールスマネージャーRemix に管理者ユーザでログインし、シートメンテナンス画面から確認することができます。

#### ● 紐付型項目によるオブジェクトの関連付け

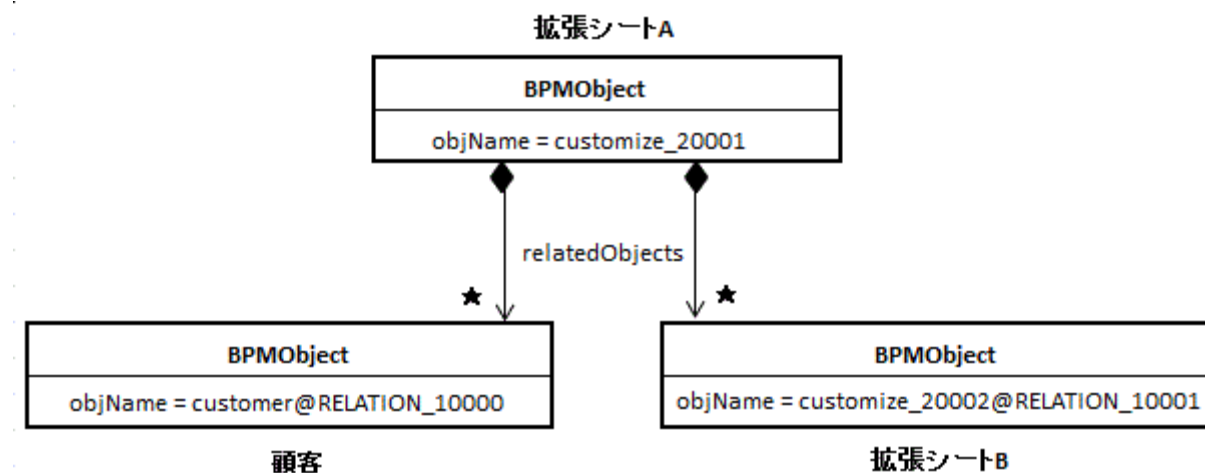
ItemData オブジェクトによる属性値指定の他に、拡張シートに登録されている紐付項目を用いて関連オブジェクトを指定することが出来ます。

これらの関連オブジェクトは、拡張シートに対するオペレーションの実行に際して、下記のような特性を持っています。

- insert オペレーション時には、指定可能
- update オペレーション時には、指定可能
- delete オペレーション時に明示的に指定する必要はありません (拡張シート削除時に、紐付情報も削除されます)

指定する際には、拡張シートを表す BPMObject オブジェクトの `relatedObjects` 属性に、結合したい BPMObject オブジェクトを指定することで行います。 `objName` 属性値は「エンティティ種別名@紐付項目カラム名」を指定することで表現します。

「紐付項目カラム名」とは、紐付型項目の項目コードの先頭に"RELATION\_"を付けた文字列です。拡張シート A に顧客との紐付型項目 (項目コード : 10000) を作成した場合、下図のように `objName` 属性値は「customer@RELATION\_10000」となります。なお、項目コードは `getColumns` オペレーションから取得することができます。



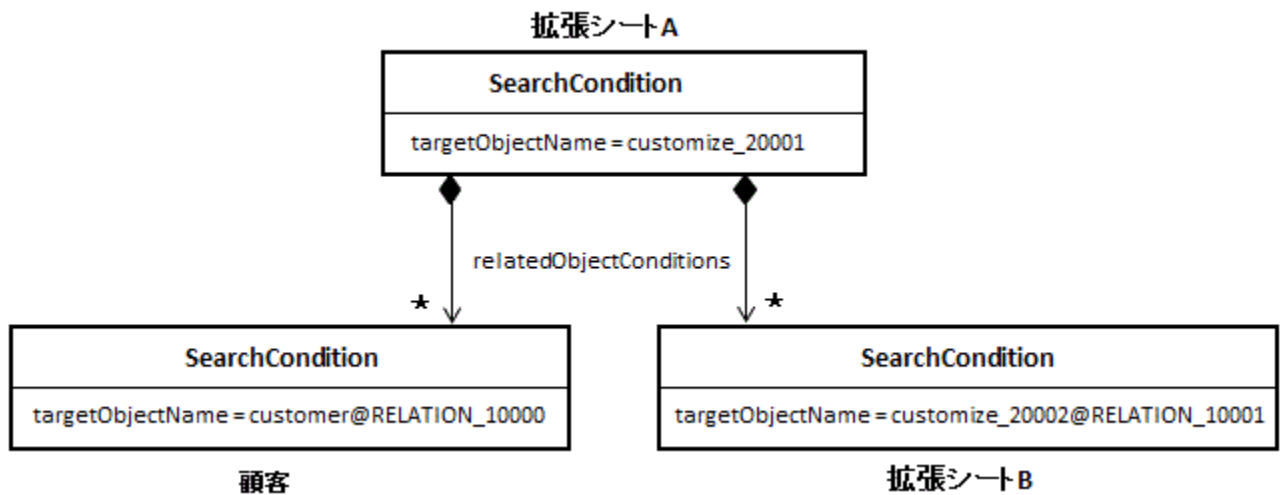
- 紐付型項目による関連オブジェクトの条件を用いた検索

SearchConditionItem オブジェクトによる属性値指定の他に、拡張シートに登録されている紐付項目を用いて関連オブジェクトの情報を指定して検索することが出来ます。

これらの関連オブジェクトは、拡張シートに対するオペレーションの実行に際して、下記のような特性を持っています。

- search オペレーション時には、指定可能

指定する際には、検索対象のシートを表す SearchCondition オブジェクトの relatedObjectConditions 属性に、結合したい SearchCondition オブジェクトを指定することで行います。 targetObjectName 属性値は「エンティティ種別名@紐付項目カラム名」を指定することで表現します。



- 標準項目の詳細情報

項目コード	項目名	データ型	データ詳細	プライマリキー	登録時 指定	更新時 指定	削除時 指定	検索条件	検索結果
-	ID	0 - テキスト		★		◎	◎	○	○
-	登録日	11 - 日時						○	○
-	登録者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○
-	最終更新日	11 - 日時						○	○
-	最終更新者	3 - 数値	<a href="#">employee</a> のプライマリキー					○	○

◎ - 指定必須、○ - 指定可能

● 検索時に指定可能な、関連オブジェクトに対する検索条件

関連オブジェクト	補足事項
<a href="#">customer</a>	紐付項目による関連
<a href="#">business</a>	紐付項目による関連
<a href="#">person</a>	紐付項目による関連
<a href="#">communication</a>	紐付項目による関連
<a href="#">customize</a>	紐付項目による関連

#### 4. FAQ

リファレンスマニュアルに記載されていない「~Specified」という属性が、WSDL から作成したプロキシクラスに存在します。これは何ですか？

Microsoft Visual Studio 付属の wsdl.exe が作成するプロキシクラスには、WSDL で定義されている属性のほかに「~Specified」という属性が設けられる場合があります。

例)

WSDL に「columnCode」という属性が定義されている場合、プロキシクラスには「columnCode」「columnCodeSpecified」という 2 つの属性が設けられる場合があります。

なお、その場合、属性値を指定する際には「~Specified」属性に True を明示的にセットする必要がありますのでご注意ください。

e セールスマネージャーRemix SOAP API に接続することができません。

サービスプロキシは作成されましたでしょうか？

サービスプロキシの作成につきましては、「チュートリアル」の「WSDL を取得し、サービスプロキシを作成する」をご参照ください。